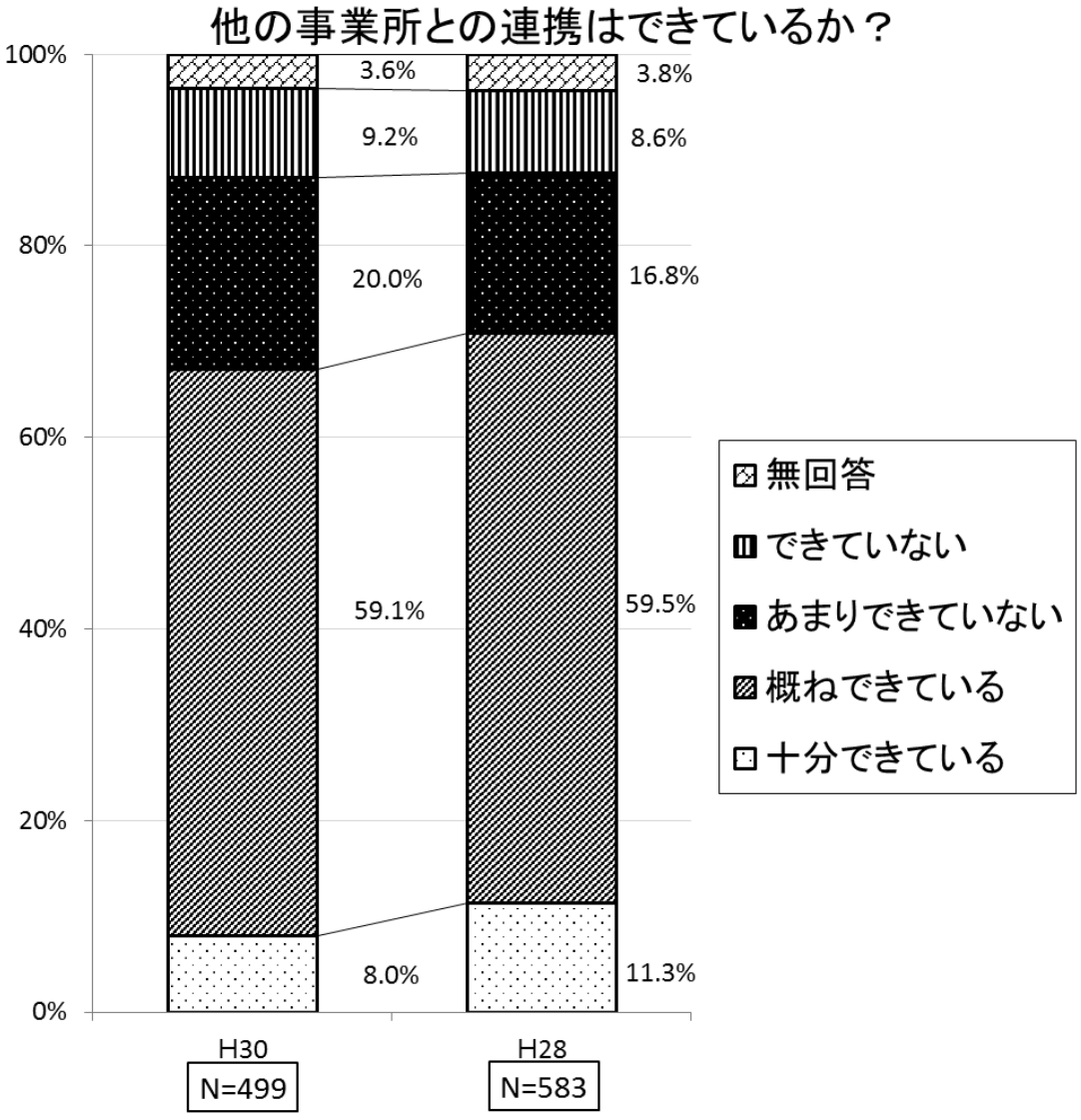
A（専門職）に関するクロス集計結果

[在宅医療・介護連携に関することについて]

質問１　現在、他の事業所との連携はできていますか？

■「概ねできている」が 59.1%と最も多く、次いで「あまりできていない」が 20.0%となっている。
『できている』（十分できている+概ねできている）と回答する割合は 67.1%、『できていない』（あまりできていない+できていない）と回答する割合は 29.2%となっている。
前回の結果と比較すると、「十分できている」と回答する割合が 8.0%（前回比▲3.3%）、「あまりできていない」と回答する割合が 20.0%（前回比△3.2%）となり、『できている』（前回比▲3.7%）割合が減少し、『できていない』（前回比△3.8%）割合が増加している。

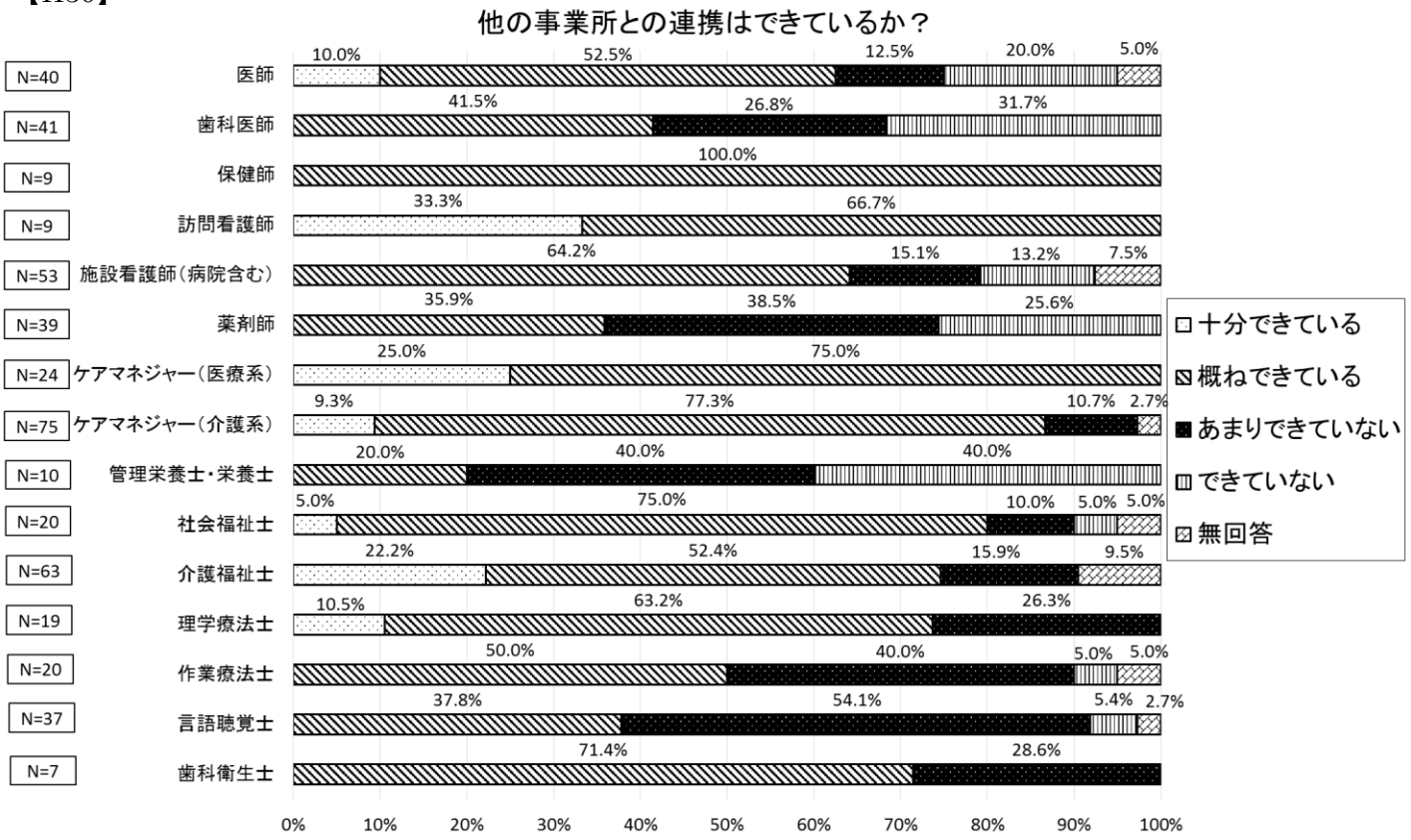
【他事業所との連携状況】



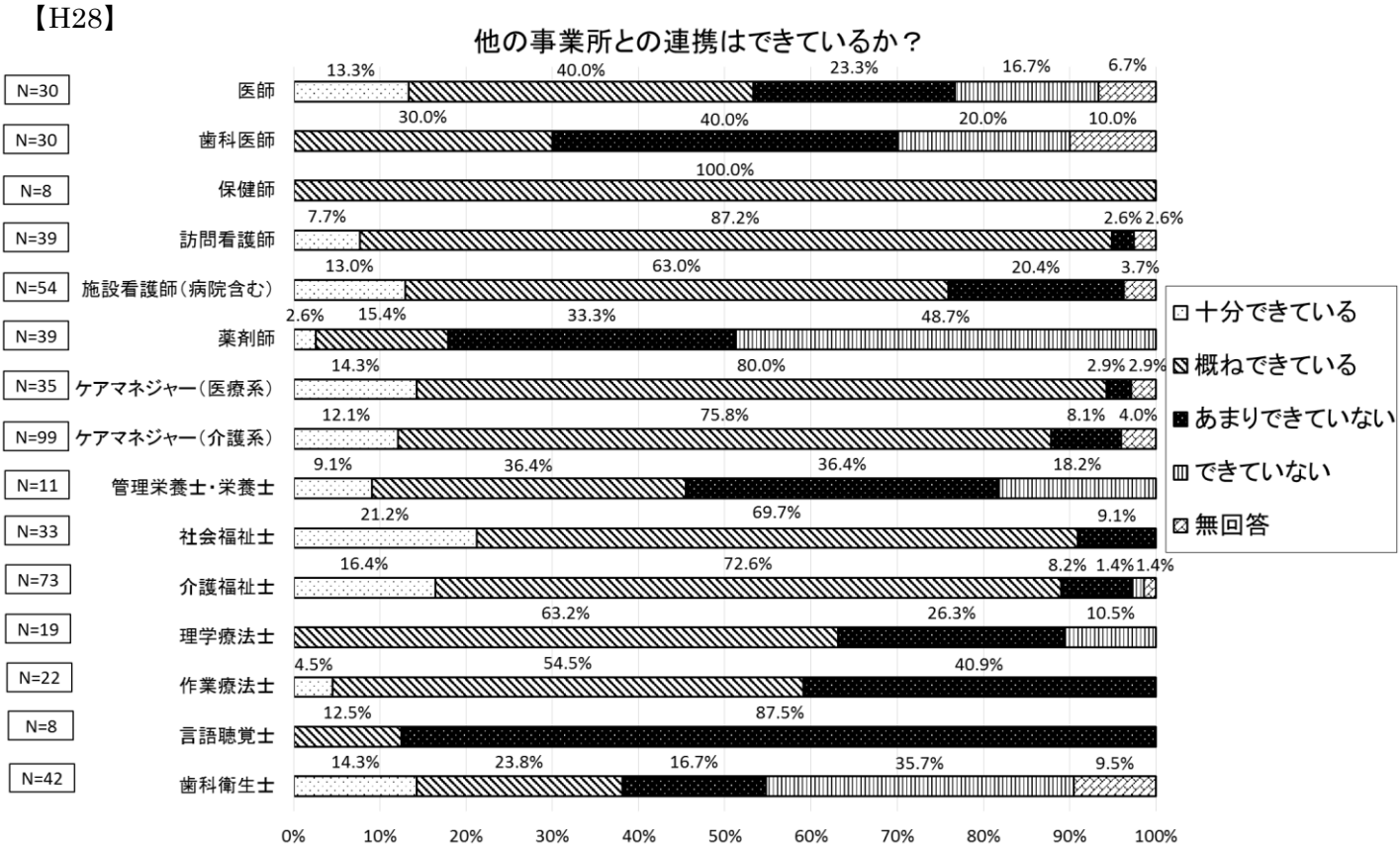
■職種別で見ると、保健師、訪問看護師、ケアマネジャー、社会福祉士は『できている』と回答した割合が 8 割以上となっている。歯科医師、薬剤師、管理栄養士・栄養士、言語聴覚士は『できていない』と回答した割合が 5 割以上となっている。
前回の結果と比較すると、半数以上の職種で『できている』と回答した割合が増加している。

【職種別】

【H30】



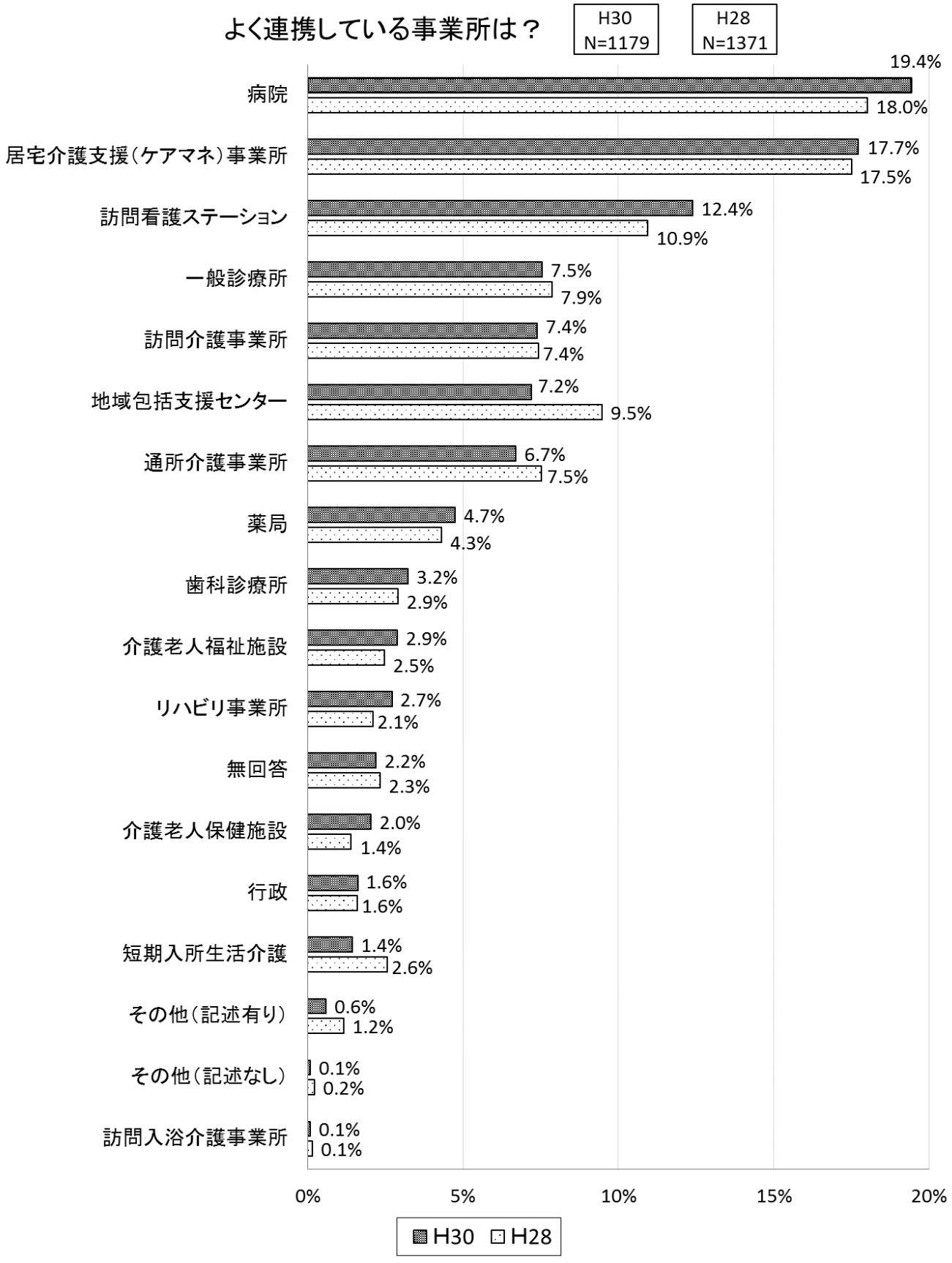
【H28】



質問２　現在、よく連携している事業所は？（最大３つまで）

■よく連携している事業所としては「病院」が 19.4%と最も多く、次いで「居宅介護支援（ケアマネ）事業所」が 17.7%、「訪問看護ステーション」が 12.4%となっている。
前回の結果と比較すると、「病院」、「訪問看護ステーション」と回答する割合が 1 ポイント以上増加している。

【よく連携している事業所】



■質問 2 を職種ごとにまとめたものが以下の表となっている。
職種別で見ても、半数以上の職種で「病院」を挙げる割合が最も高い。
また、構成比から見ると、訪問看護師、理学福祉士、作業療法士、歯科衛生士は「居宅介護支援（ケアマネ）事業所」、言語聴覚士は「病院」と回答する割合が高い。
前回の結果と比較すると、「訪問看護ステーション」や「居宅介護支援（ケアマネ）事業所」が、回答上位3項目の中に挙がるようになっている。

【職種別】 上位３項目まで抽出

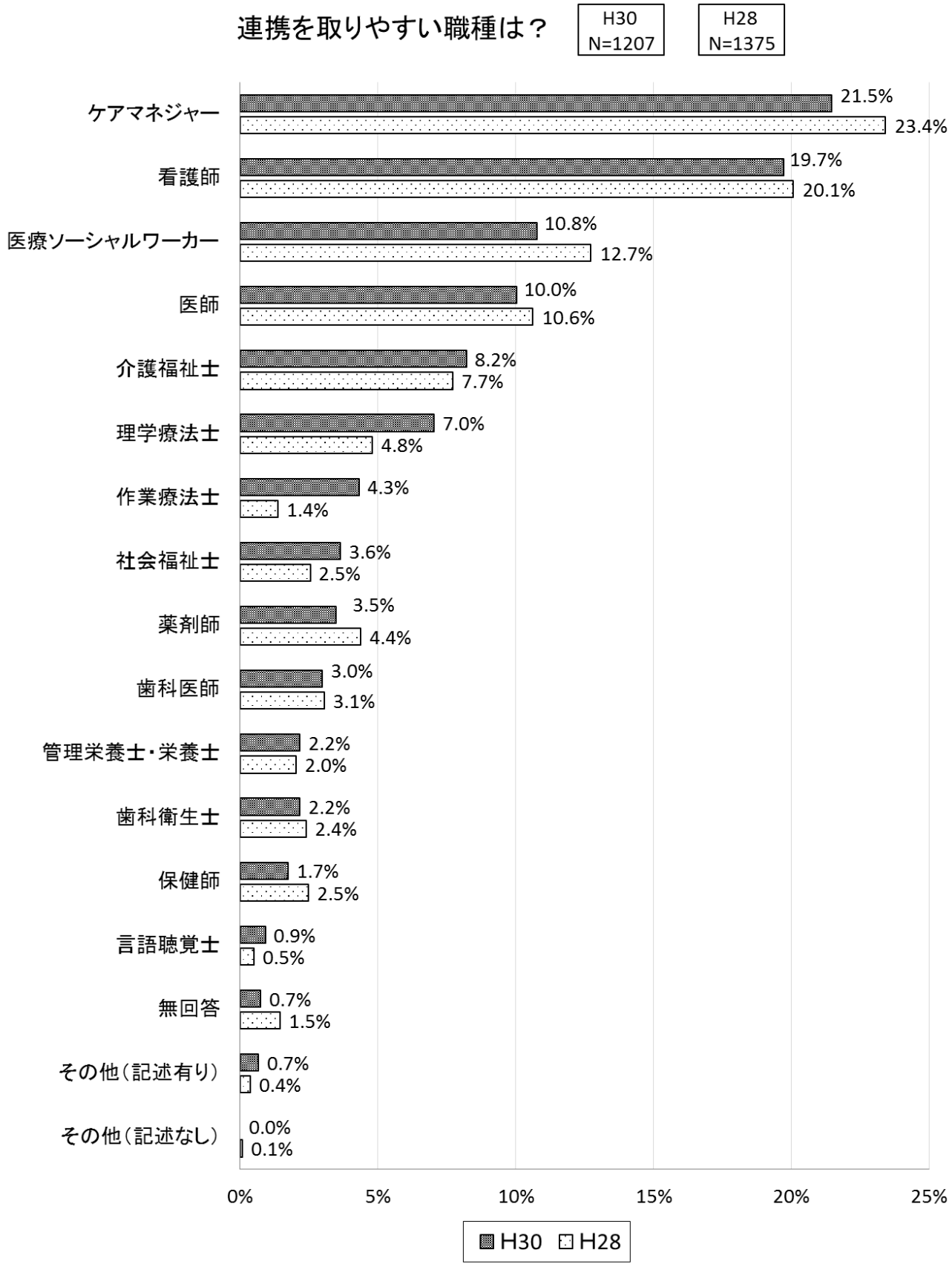
職種	平成30年度		平成28年度	
	よく連携している事業所	構成比 （%）	よく連携している事業所	構成比 （%）
医師	病院	21.4%	病院	24.2%
	訪問看護ステーション	20.4%	訪問看護ステーション	24.2%
	一般診療所	12.2%	薬局	11.3%
歯科医師	病院	24.3%	病院	21.2%
	一般診療所	12.2%	一般診療所	13.5%
	訪問看護ステーション	9.5%	介護老人福祉施設	11.5%
保健師	病院	29.2%	病院	29.2%
	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	20.8%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	20.8%
	通所介護事業所	16.7%	訪問介護事業所	16.7%
訪問看護師	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	**37.5%**	病院	27.5%
	一般診療所	25.0%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	26.6%
	病院	16.7%	一般診療所	19.3%
施設看護師	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	20.7%	病院	19.5%
	病院	19.0%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	19.5%
	訪問看護ステーション	15.5%	訪問看護ステーション	18.0%
薬剤師	病院	23.8%	薬局	21.7%
	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	21.3%	一般診療所	20.0%
	一般診療所	15.0%	病院	16.7%
ケアマネジャー（医療系）	訪問看護ステーション	20.8%	病院	20.2%
	訪問介護事業所	15.3%	訪問看護ステーション	17.2%
	通所介護事業所	15.3%	訪問介護事業所	14.1%
ケアマネジャー（介護系）	訪問介護事業所	16.1%	訪問介護事業所	16.2%
	通所介護事業所	15.7%	病院	14.7%
	病院	15.2%	通所介護事業所	14.7%
管理栄養士・栄養士	介護老人福祉施設	18.8%	病院	20.0%
	病院	12.5%	歯科診療所	20.0%
	通所介護事業所	6.3%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	15.0%
社会福祉士	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	29.1%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	28.0%
	病院	21.8%	病院	22.6%
	行政	10.9%	地域包括支援センター	10.8%
介護福祉士	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	28.4%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	**33.9%**
	病院	12.8%	地域包括支援センター	11.9%
	地域包括支援センター	12.8%	訪問看護ステーション	11.3%
理学療法士	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	**31.8%**	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	**34.9%**
	病院	22.7%	地域包括支援センター	23.3%
	訪問看護ステーション	11.4%	病院	14.0%
作業療法士	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	**34.1%**	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	24.0%
	病院	22.0%	病院	18.0%
	訪問看護ステーション	14.6%	リハビリ事業所	16.0%
言語聴覚士	病院	**35.4%**	病院	**40.0%**
	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	17.1%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	13.3%
	リハビリ事業所	8.5%	地域包括支援センター	13.3%
歯科衛生士	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	**38.5%**	病院	19.7%
	病院	23.1%	歯科診療所	12.1%
	歯科診療所	7.7%	介護老人福祉施設	10.6%

※１　構成比 30%以上の項目は太字で記述　　※２　同率の場合、質問項目の若い順に抽出

質問３　連携を取りやすい職種は？（最大３つまで）

■連携を取りやすい職種としては「ケアマネジャー」が 21.5%と最も多く、次いで「看護師」が 19.7%と他の職種に比べ、高い割合になっている。
前回の結果と比較すると、「理学療法士」、「作業療法士」、「社会福祉士」と回答する割合が 1 ポイント以上増加している。

【連携を取りやすい職種】



■質問３を職種ごとにまとめたものが以下の表となっている。

職種別で見ても、半数以上の職種で「ケアマネジャー」を挙げる割合が最も高い。また、構成比から見ると、保健師、介護福祉士、作業療法士、歯科衛生士は「ケアマネジャー」を、言語聴覚士は「作業療法士」を、訪問看護師は「ケアマネジャー」「看護師」と回答する割合が高い。

前回の結果と比較すると、薬剤師は「ケアマネジャー」と、言語聴覚士は「作業療法士」と、歯科衛生士は「ケアマネジャー」と連携を取りやすくなったと回答している点が大きく異なっている。

【職種別】上位３項目まで抽出

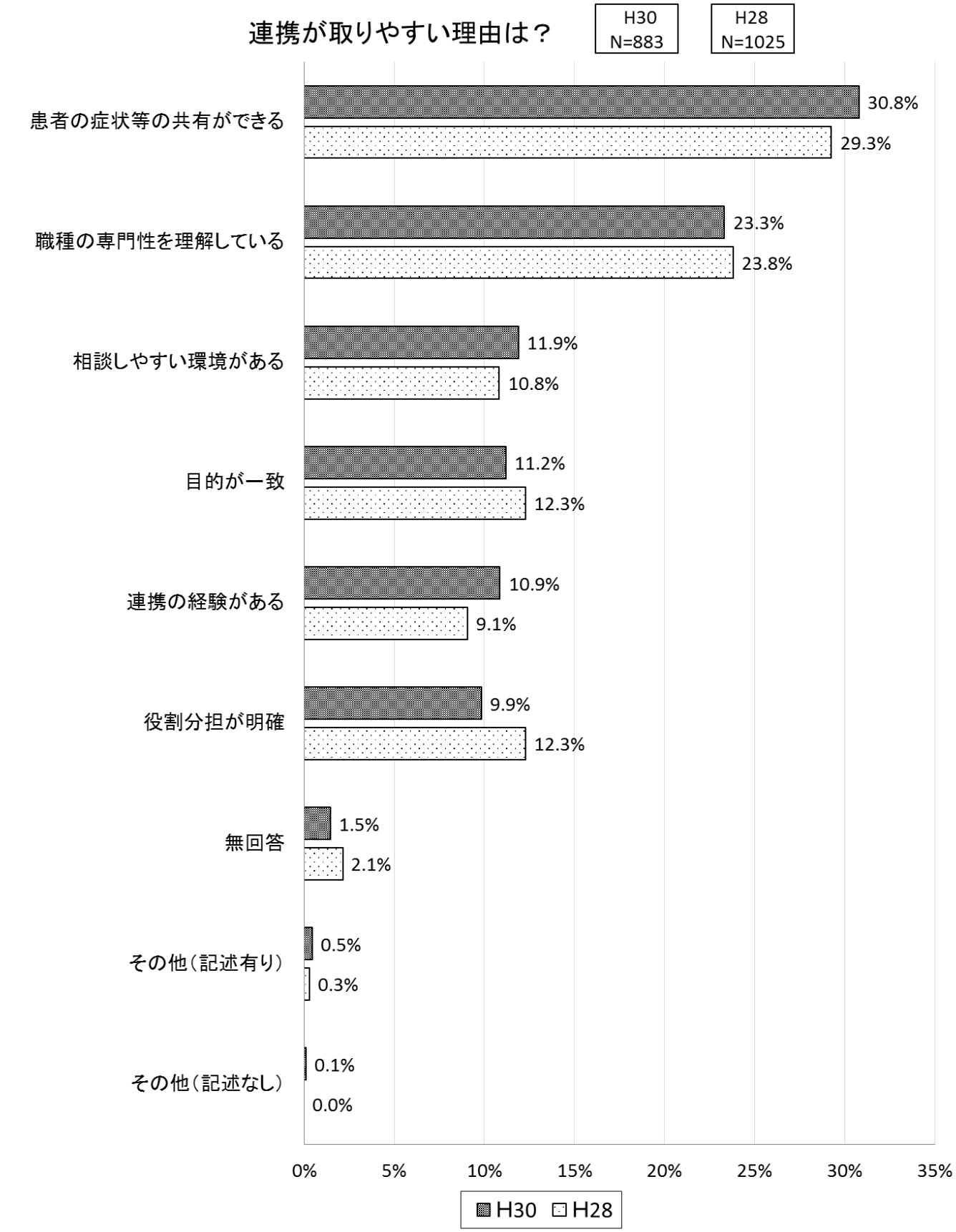
職種	平成30年度		平成28年度	
	連携を取りやすい職種	構成比（%）	連携を取りやすい職種	構成比（%）
医師	医師	25.3%	医師	25.8%
	看護師	24.2%	看護師	24.2%
	ケアマネジャー	18.9%	ケアマネジャー	21.2%
歯科医師	医師	23.6%	医師	22.0%
	歯科医師	21.3%	ケアマネジャー	18.6%
	歯科衛生士	18.0%	歯科衛生士	15.3%
保健師	ケアマネジャー	**34.8%**	医療ソーシャルワーカー	27.8%
	医療ソーシャルワーカー	26.1%	看護師	22.2%
	看護師	8.7%	ケアマネジャー	22.2%
訪問看護師	ケアマネジャー	**42.1%**	ケアマネジャー	**31.4%**
	看護師	**31.6%**	看護師	24.5%
	医師	10.5%	医師	19.6%
施設看護師	看護師	28.2%	ケアマネジャー	**30.2%**
	ケアマネジャー	23.4%	看護師	29.5%
	医師	13.7%	医師	10.9%
薬剤師	ケアマネジャー	25.0%	医師	**32.5%**
	看護師	23.8%	薬剤師	20.0%
	医師	19.0%	看護師	16.3%
ケアマネジャー（医療系）	看護師	25.0%	看護師	23.2%
	医療ソーシャルワーカー	19.1%	医療ソーシャルワーカー	23.2%
	介護福祉士	13.2%	介護福祉士	14.1%
ケアマネジャー（介護系）	医療ソーシャルワーカー	21.9%	医療ソーシャルワーカー	24.4%
	看護師	18.4%	看護師	23.6%
	介護福祉士	17.9%	介護福祉士	15.6%
管理栄養士・栄養士	看護師	27.8%	看護師	24.0%
	ケアマネジャー	27.8%	ケアマネジャー	16.0%
	管理栄養士・栄養士	27.8%	管理栄養士・栄養士	12.0%
社会福祉士	ケアマネジャー	28.3%	ケアマネジャー	**31.0%**
	医療ソーシャルワーカー	28.3%	医療ソーシャルワーカー	28.7%
	社会福祉士	17.0%	社会福祉士	14.9%
介護福祉士	ケアマネジャー	**31.3%**	ケアマネジャー	**41.3%**
	看護師	21.8%	看護師	23.1%
	介護福祉士	12.2%	介護福祉士	11.9%
理学療法士	ケアマネジャー	29.8%	ケアマネジャー	**42.9%**
	看護師	19.1%	看護師	19.0%
	理学療法士	12.8%	理学療法士	19.0%
作業療法士	ケアマネジャー	**30.0%**	ケアマネジャー	24.6%
	理学療法士	20.0%	理学療法士	21.1%
	看護師	16.0%	看護師	15.8%
言語聴覚士	作業療法士	**30.3%**	医療ソーシャルワーカー	25.0%
	理学療法士	29.3%	看護師	15.0%
	看護師	11.1%	理学療法士	15.0%
歯科衛生士	ケアマネジャー	**37.5%**	歯科衛生士	24.7%
	歯科衛生士	18.8%	歯科医師	18.0%
	歯科医師	12.5%	ケアマネジャー	14.6%

※１　構成比 30%以上の職種は太字で記述　　※２　同率の場合、質問項目の若い順に抽出

質問４　連携を取りやすい理由は？（最大２つまで）

■連携を取りやすい理由としては「患者の症状等の共有ができる」が 30.8%と最も多く、次いで「職種の専門性を理解している」が 23.3%と他の項目に比べ、高い割合になっている。
前回の結果と比較すると、「相談しやすい環境がある」、「連携の経験がある」と回答する割合が 1 ポイント以上増加している。

【連携を取りやすい理由】



■質問４を職種ごとにまとめたものが以下の表となっている。
職種別で見ても、全職種で「患者の症状等の共有ができる」、「職種の専門性を理解している」と回答する割合が高い。

【職種別】上位３項目まで抽出

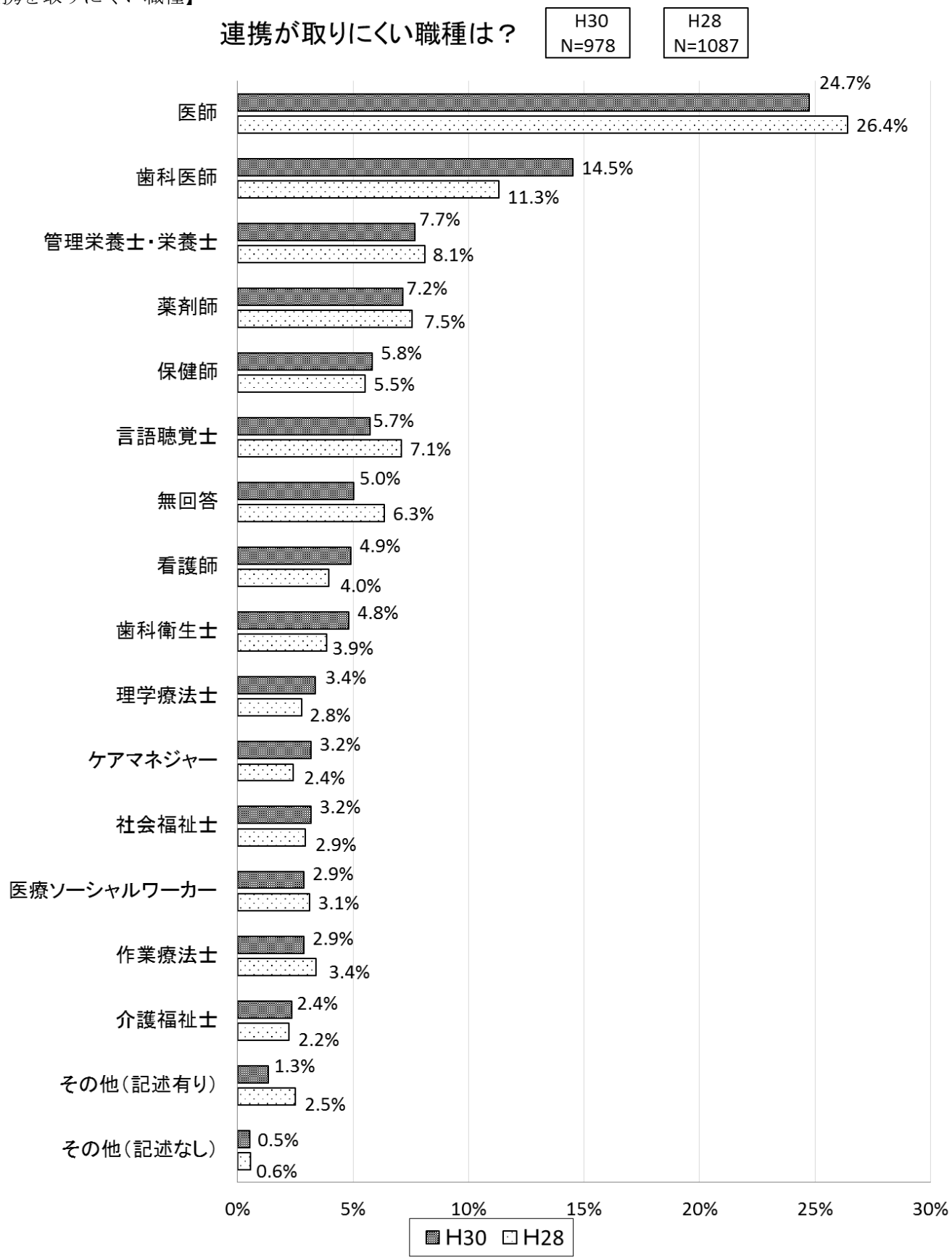
職種	平成30年度		平成28年度	
	連携を取りやすい理由	構成比（%）	連携を取りやすい理由	構成比（%）
医師	患者の症状等の共有ができる	**33.8%**	職種の専門性を理解している	**37.7%**
	職種の専門性を理解している	**31.0%**	患者の症状等の共有ができる	22.6%
	相談しやすい環境がある	9.9%	目的が一致	11.3%
歯科医師	職種の専門性を理解している	**36.9%**	患者の症状等の共有ができる	22.7%
	患者の症状等の共有ができる	**35.4%**	職種の専門性を理解している	20.5%
	役割分担が明確	6.2%	役割分担が明確	13.6%
保健師	患者の症状等の共有ができる	23.5%	職種の専門性を理解している	**37.5%**
	役割分担が明確	23.5%	患者の症状等の共有ができる	25.0%
	目的が一致	23.5%	目的が一致	18.8%
訪問看護師	患者の症状等の共有ができる	**37.5%**	患者の症状等の共有ができる	**34.2%**
	職種の専門性を理解している	18.8%	職種の専門性を理解している	28.9%
	相談しやすい環境がある	18.8%	役割分担が明確	14.5%
施設看護師	患者の症状等の共有ができる	**42.9%**	患者の症状等の共有ができる	**35.7%**
	職種の専門性を理解している	16.5%	職種の専門性を理解している	21.4%
	役割分担が明確	11.0%	目的が一致	15.3%
薬剤師	患者の症状等の共有ができる	**40.3%**	患者の症状等の共有ができる	**33.9%**
	連携の経験がある	21.0%	職種の専門性を理解している	25.4%
	職種の専門性を理解している	11.3%	目的が一致	11.9%
ケアマネジャー（医療系）	患者の症状等の共有ができる	29.8%	患者の症状等の共有ができる	**36.4%**
	連携の経験がある	17.0%	職種の専門性を理解している	16.7%
	職種の専門性を理解している	14.9%	連携の経験がある	15.2%
ケアマネジャー（介護系）	職種の専門性を理解している	23.8%	患者の症状等の共有ができる	**30.1%**
	患者の症状等の共有ができる	23.1%	職種の専門性を理解している	18.6%
	連携の経験がある	14.7%	役割分担が明確	15.3%
管理栄養士・栄養士	職種の専門性を理解している	**37.5%**	患者の症状等の共有ができる	**43.8%**
	患者の症状等の共有ができる	**31.3%**	相談しやすい環境がある	**31.3%**
	相談しやすい環境がある	18.8%	職種の専門性を理解している	12.5%
社会福祉士	職種の専門性を理解している	29.7%	職種の専門性を理解している	27.9%
	患者の症状等の共有ができる	16.2%	連携の経験がある	18.0%
	目的が一致	16.2%	患者の症状等の共有ができる	16.4%
介護福祉士	患者の症状等の共有ができる	**30.2%**	患者の症状等の共有ができる	23.3%
	相談しやすい環境がある	20.7%	職種の専門性を理解している	19.4%
	職種の専門性を理解している	16.4%	相談しやすい環境がある	18.6%
理学療法士	患者の症状等の共有ができる	**37.9%**	患者の症状等の共有ができる	25.8%
	職種の専門性を理解している	24.1%	職種の専門性を理解している	19.4%
	役割分担が明確	13.8%	役割分担が明確	19.4%
作業療法士	患者の症状等の共有ができる	26.5%	職種の専門性を理解している	**32.6%**
	職種の専門性を理解している	17.6%	患者の症状等の共有ができる	27.9%
	役割分担が明確	17.6%	役割分担が明確	18.6%
言語聴覚士	職種の専門性を理解している	**32.4%**	患者の症状等の共有ができる	**42.9%**
	患者の症状等の共有ができる	26.5%	職種の専門性を理解している	**35.7%**
	相談しやすい環境がある	14.7%	目的が一致	7.1%
歯科衛生士	患者の症状等の共有ができる	**41.7%**	患者の症状等の共有ができる	**32.3%**
	職種の専門性を理解している	25.0%	職種の専門性を理解している	27.7%
	相談しやすい環境がある	25.0%	目的が一致	10.8%

※１　構成比 30%以上の項目は太字で記述　　※２　同率の場合、質問項目の若い順に抽出

質問５　連携を取りにくい職種は？（最大３つまで）

■連携を取りにくい職種としては「医師」が 24.7%と最も多く、次いで「歯科医師」が 14.5%と他職種に比べ、高い割合になっている。
前回の結果と比較すると、「医師」、「言語聴覚士」と回答する割合が 1 ポイント以上減少している。

【連携を取りにくい職種】



■質問５を職種ごとにまとめたものが以下の表となっている。
職種別で見ると、 医師、歯科医師、薬剤師を除く全ての職種で、最も連携を取りにくい職種として「医師」を挙げている。

【職種別】 上位３項目まで抽出

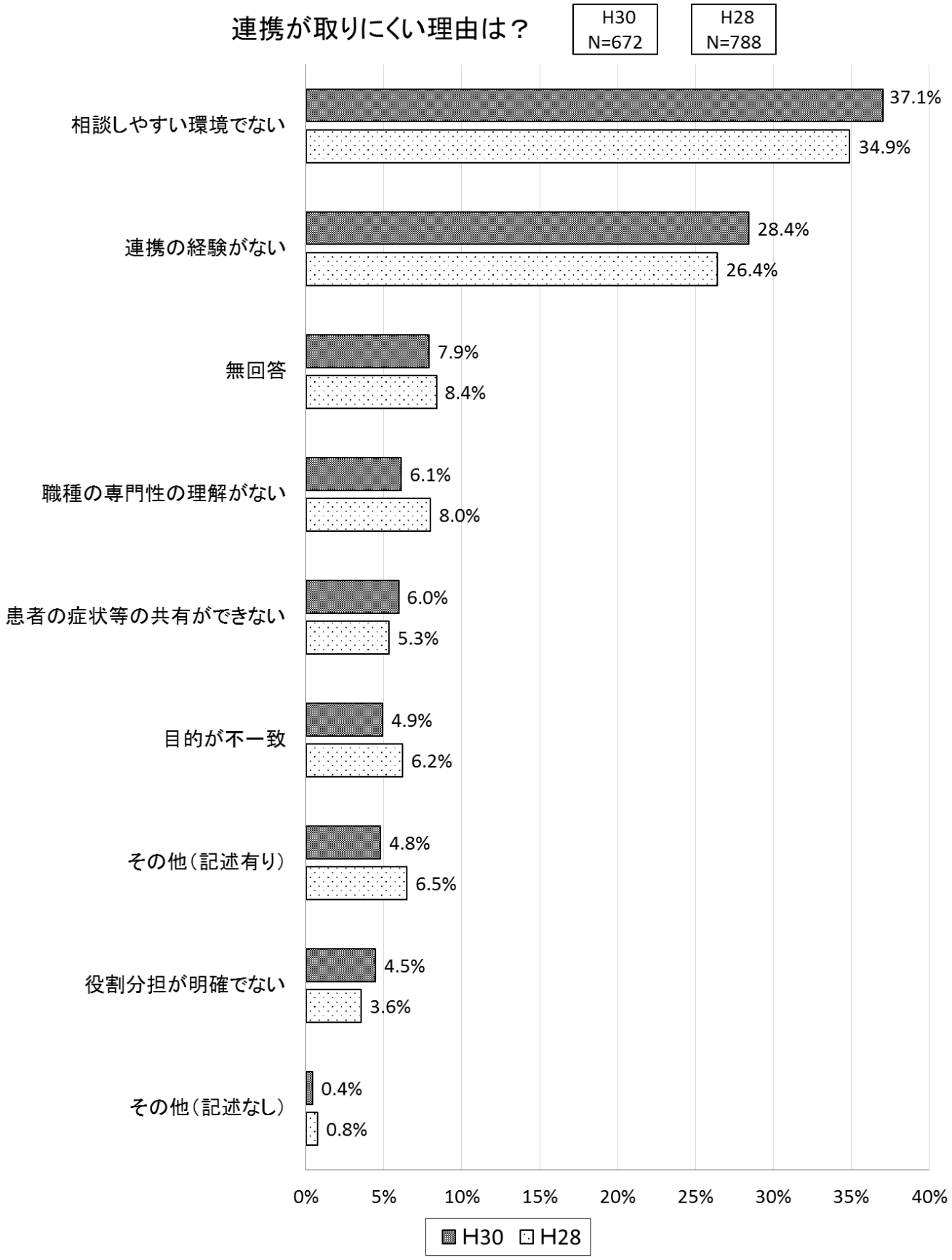
職種	平成30年度		平成28年度	
	連携を取りにくい職種	構成比 (%)	連携を取りにくい職種	構成比 (%)
医師	管理栄養士・栄養士	12.3%	言語聴覚士	13.8%
	言語聴覚士	9.9%	社会福祉士	10.3%
	介護福祉士	8.6%	管理栄養士・栄養士	8.6%
歯科医師	言語聴覚士	9.9%	言語聴覚士	9.4%
	理学療法士	8.6%	作業療法士	9.4%
	社会福祉士	8.6%	保健師	9.4%
保健師	医師	**43.8%**	医師	25.0%
	歯科医師	12.5%	歯科医師	25.0%
	言語聴覚士	12.5%	歯科衛生士	12.5%
訪問看護師	医師	18.8%	医師	25.7%
	歯科医師	12.5%	保健師	13.5%
	保健師	12.5%	管理栄養士・栄養士	10.8%
施設看護師	医師	24.4%	医師	19.4%
	歯科医師	16.7%	歯科医師	13.3%
	管理栄養士・栄養士	7.8%	言語聴覚士	8.2%
薬剤師	歯科医師	18.2%	医師	12.2%
	管理栄養士・栄養士	13.0%	看護師	9.5%
	医師	10.4%	作業療法士	8.1%
ケアマネジャー（医療系）	医師	29.2%	医師	**31.6%**
	管理栄養士・栄養士	20.8%	歯科医師	17.1%
	歯科医師	12.5%	管理栄養士・栄養士	9.2%
ケアマネジャー（介護系）	医師	**36.6%**	医師	**41.0%**
	歯科医師	20.9%	歯科医師	14.9%
	管理栄養士・栄養士	9.8%	管理栄養士・栄養士	11.2%
管理栄養士・栄養士	医師	**36.4%**	言語聴覚士	20.0%
	その他（記述有り）	18.2%	医師	15.0%
	薬剤師	9.1%	歯科医師	15.0%
社会福祉士	医師	24.3%	医師	**32.3%**
	歯科医師	21.6%	歯科医師	21.5%
	看護師	10.8%	薬剤師	10.8%
介護福祉士	医師	28.1%	医師	26.9%
	歯科医師	14.8%	薬剤師	9.7%
	薬剤師	10.4%	言語聴覚士	9.7%
理学療法士	医師	27.5%	医師	**41.2%**
	歯科医師	27.5%	歯科医師	14.7%
	薬剤師	20.0%	薬剤師	14.7%
作業療法士	医師	**48.4%**	医師	24.5%
	歯科医師	16.1%	薬剤師	24.5%
	薬剤師	12.9%	歯科医師	14.3%
言語聴覚士	医師	22.6%	医師	28.6%
	歯科医師	16.7%	保健師	28.6%
	薬剤師	16.7%	歯科医師	7.1%
歯科衛生士	医師	**33.3%**	医師	15.0%
	理学療法士	11.1%	ケアマネジャー	8.3%
	作業療法士	11.1%	管理栄養士・栄養士	8.3%

※１　構成比 30%以上の職種は太字で記述　　※２　同率の場合、質問項目の若い順に抽出

質問６　連携を取りにくい理由は？（最大２つまで）

■連携を取りにくい理由としては「相談しやすい環境ではない」が 37.1%と最も多く、次いで「連携の経験がない」が 28.4%と他の項目に比べ、高い割合になっている。
前回の結果と比較すると、「相談しやすい環境ではない」、「連携の経験がない」と回答する割合が 2 ポイント以上増加している。

【連携を取りにくい理由】



■質問 6 を職種ごとにまとめたものが以下の表となっている。
職種別で見ても、全職種で「相談しやすい環境でない」、「連携の経験がない」と回答する割合が高い。

【職種別】上位３項目まで抽出

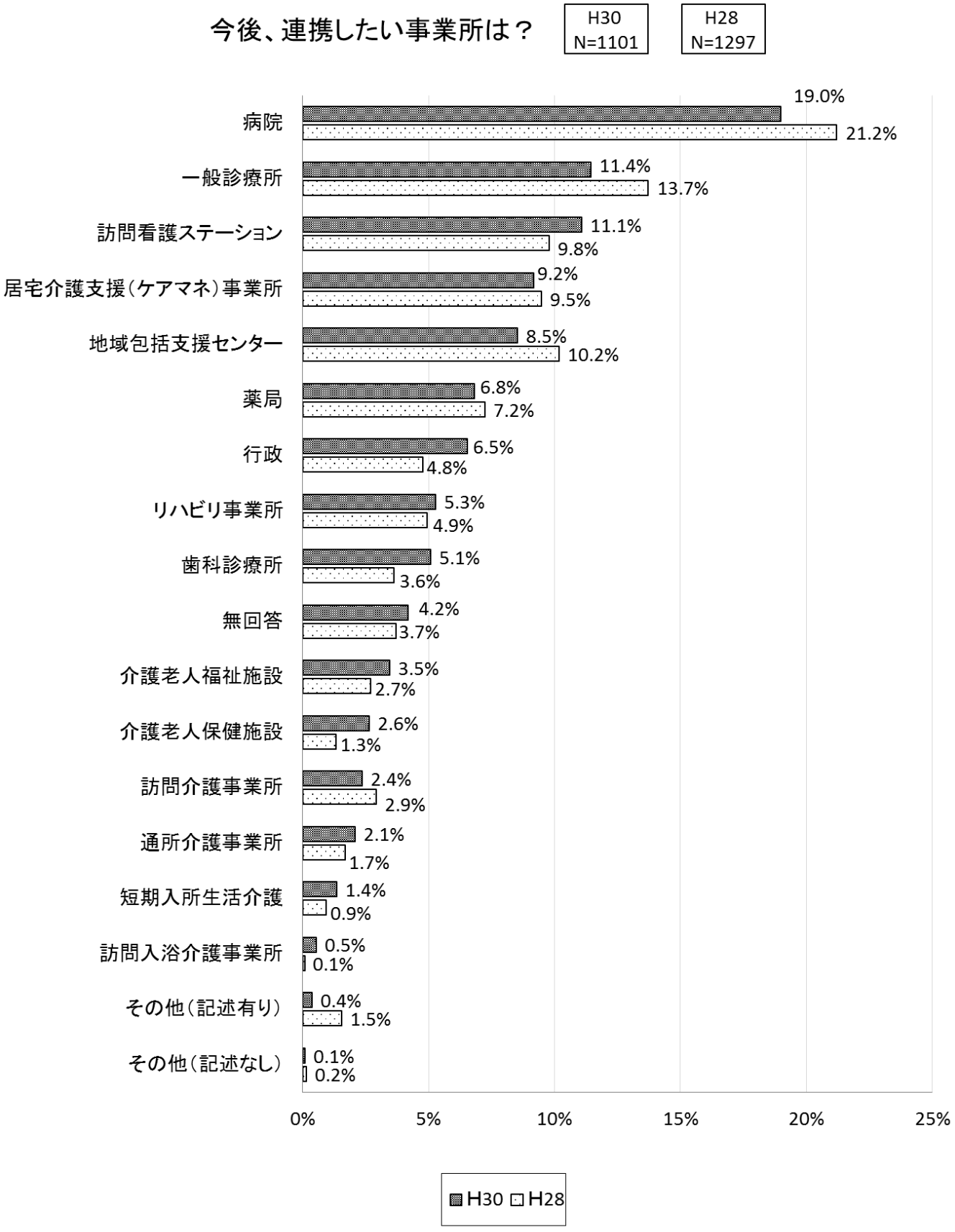
職種	平成30年度		平成28年度	
	連携を取りにくい理由	構成比（%）	連携を取りにくい理由	構成比（%）
医師	連携の経験がない	27.6%	連携の経験がない	27.5%
	相談しやすい環境でない	20.7%	相談しやすい環境ではない	17.5%
	目的が不一致	12.1%	役割分担が明確でない	10.0%
歯科医師	連携の経験がない	**41.5%**	連携の経験がない	**34.1%**
	相談しやすい環境でない	20.8%	相談しやすい環境でない	26.8%
	患者の症状等の共有ができない	7.5%	職種の専門性の理解がない	7.3%
保健師	相談しやすい環境でない	**33.3%**	相談しやすい環境でない	**55.6%**
	連携の経験がない	25.0%	連携の経験がない	22.2%
	職種の専門性の理解がない	16.7%	その他（記述有り）	11.1%
訪問看護師	相談しやすい環境でない	**33.3%**	連携の経験がない	27.8%
	連携の経験がない	16.7%	相談しやすい環境でない	24.1%
	患者の症状等の共有ができない	16.7%	その他（記述有り）	14.8%
施設看護師	相談しやすい環境でない	**34.8%**	相談しやすい環境でない	**35.1%**
	連携の経験がない	22.7%	連携の経験がない	21.6%
	患者の症状等の共有ができない	10.6%	患者の症状等の共有ができない	9.5%
薬剤師	連携の経験がない	**41.5%**	連携の経験がない	**40.8%**
	相談しやすい環境でない	**30.2%**	相談しやすい環境でない	22.4%
	役割分担が明確でない	13.2%	職種の専門性の理解がない	6.1%
ケアマネジャー（医療系）	相談しやすい環境でない	**41.9%**	相談しやすい環境でない	**42.3%**
	連携の経験がない	19.4%	職種の専門性の理解がない	11.5%
	職種の専門性の理解がない	9.7%	連携の経験がない	11.5%
ケアマネジャー（介護系）	相談しやすい環境でない	**48.5%**	相談しやすい環境でない	**45.3%**
	連携の経験がない	15.5%	連携の経験がない	15.3%
	職種の専門性の理解がない	7.8%	職種の専門性の理解がない	11.7%
管理栄養士・栄養士	相談しやすい環境でない	**36.4%**	連携の経験がない	**41.7%**
	連携の経験がない	**36.4%**	相談しやすい環境でない	**33.3%**
	役割分担が明確でない	9.1%	その他（記述有り）	8.3%
社会福祉士	相談しやすい環境でない	**31.0%**	相談しやすい環境でない	**38.3%**
	連携の経験がない	**31.0%**	連携の経験がない	**31.9%**
	その他（記述有り）	10.3%	その他（記述有り）	8.5%
介護福祉士	連携の経験がない	**38.4%**	相談しやすい環境でない	**37.9%**
	相談しやすい環境でない	**31.4%**	連携の経験がない	**36.8%**
	患者の症状等の共有ができない	7.0%	目的が不一致	5.3%
理学療法士	相談しやすい環境でない	**62.5%**	相談しやすい環境でない	**60.0%**
	連携の経験がない	25.0%	連携の経験がない	16.0%
	その他（記述有り）	8.3%	職種の専門性の理解がない	8.0%
作業療法士	相談しやすい環境でない	**50.0%**	連携の経験がない	**35.3%**
	連携の経験がない	**30.8%**	相談しやすい環境でない	**35.3%**
	職種の専門性の理解がない	7.7%	職種の専門性の理解がない	11.8%
言語聴覚士	相談しやすい環境でない	**54.7%**	相談しやすい環境でない	**45.5%**
	連携の経験がない	26.4%	連携の経験がない	**36.4%**
	職種の専門性の理解がない	7.5%	職種の専門性の理解がない	9.1%
歯科衛生士	相談しやすい環境でない	28.6%	連携の経験がない	**30.8%**
	連携の経験がない	28.6%	相談しやすい環境でない	17.3%
			職種の専門性の理解がない	11.5%

※１　構成比 30%以上の項目は太字で記述　　※２　同率の場合、質問項目の若い順に抽出

質問７　今後、連携したい事業所は？（最大３つまで）

■今後、連携したい事業所としては「病院」が 19.0%と最も多く、次いで「一般診療所」が 11.4%、「訪問看護ステーション」が 11.1%となっている。
前回の結果と比較すると、「訪問看護ステーション」、「歯科診療所」、「介護老人保健施設」、「行政」と回答する割合が１ポイント以上増加している。

【今後、連携したい事業所】



■質問７を職種ごとにまとめたものが以下の表となっている。
職種別で見ても、半数以上の職種で「病院」を挙げる割合が最も高い。
前回の結果と比較すると、「病院」だけではなく「一般診療所」や「居宅介護支援（ケアマネ）事業所」などの事業所とも連携したいと回答する職種が増加している。

【職種別】上位３項目まで抽出

職種	平成30年度		平成28年度	
	今後、連携したい事業所	構成比（%）	今後、連携したい事業所	構成比（%）
医師	病院	17.6%	病院	18.5%
	訪問看護ステーション	14.3%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	12.3%
	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	13.2%	一般診療所	9.2%
歯科医師	一般診療所	14.5%	病院	15.9%
	病院	13.3%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	15.9%
	訪問看護ステーション	10.8%	一般診療所	12.7%
保健師	病院	25.0%	一般診療所	21.4%
	一般診療所	20.0%	薬局	21.4%
	薬局	15.0%	歯科診療所	14.3%
訪問看護師	一般診療所	15.8%	病院	26.7%
	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	15.8%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	15.8%
	歯科診療所	15.8%	一般診療所	11.9%
施設看護師	病院	21.2%	病院	17.1%
	訪問看護ステーション	18.8%	訪問看護ステーション	16.2%
	一般診療所	11.8%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	16.2%
薬剤師	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	19.0%	病院	17.2%
	病院	18.0%	一般診療所	17.2%
	訪問看護ステーション	18.0%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	15.1%
ケアマネジャー（医療系）	病院	23.7%	病院	23.3%
	一般診療所	15.3%	一般診療所	15.1%
	薬局	15.3%	薬局	14.0%
ケアマネジャー（介護系）	病院	26.0%	病院	27.4%
	一般診療所	15.8%	一般診療所	21.1%
	行政	13.6%	地域包括支援センター	10.1%
管理栄養士・栄養士	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	13.6%	病院	11.8%
	介護老人保健施設	13.6%	歯科診療所	11.8%
	病院	9.1%	介護老人福祉施設	11.8%
社会福祉士	薬局	23.3%	病院	21.7%
	一般診療所	18.6%	一般診療所	19.3%
	病院	16.3%	薬局	12.0%
介護福祉士	病院	17.7%	病院	25.7%
	地域包括支援センター	12.3%	地域包括支援センター	12.1%
	訪問看護ステーション	10.0%	訪問看護ステーション	11.4%
理学療法士	病院	20.0%	病院	19.6%
	歯科診療所	11.1%	訪問看護ステーション	13.0%
	薬局	8.9%	地域包括支援センター	13.0%
作業療法士	病院	22.0%	地域包括支援センター	18.6%
	訪問看護ステーション	16.0%	病院	11.9%
	一般診療所	10.0%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	11.9%
言語聴覚士	訪問看護ステーション	17.7%	訪問看護ステーション	**31.6%**
	地域包括支援センター	15.2%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	26.3%
	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	13.9%	地域包括支援センター	21.1%
歯科衛生士	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	20.0%	居宅介護支援（ケアマネ）事業所	15.2%
	病院	13.3%	訪問看護ステーション	13.6%
	訪問介護事業所	13.3%	病院	12.1%

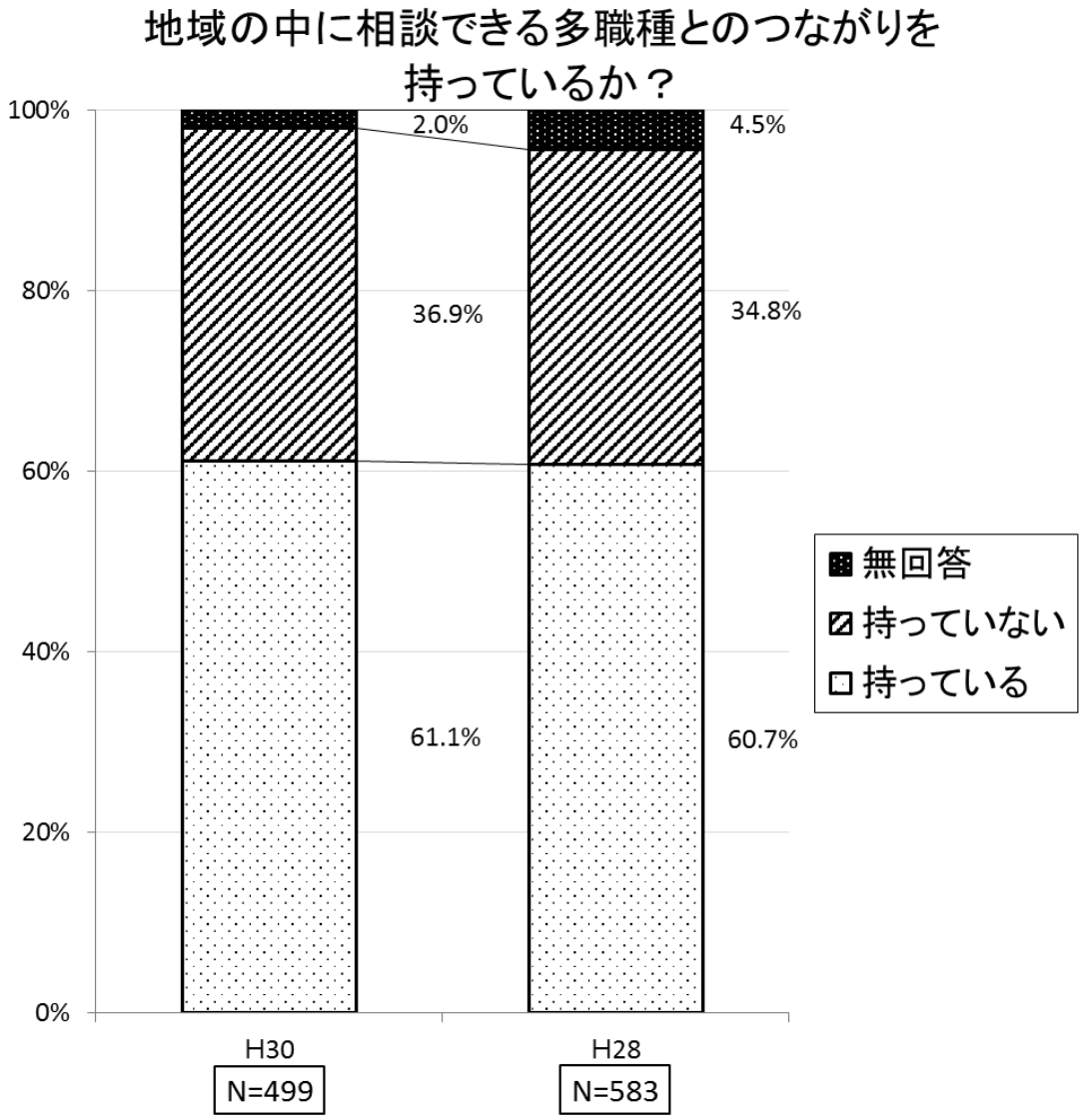
※１　構成比 30%以上の項目は太字で記述　　※２　同率の場合、質問項目の若い順に抽出

〔地域の中の多職種とのつながりに関することについて〕

質問８　地域の中に相談できる多職種とのつながりを持っていますか？

■多職種のつながりとしては「持っている」が 61.1%、「持っていない」が 36.9%となっている。
前回の結果と比較すると、「持っている」と回答する割合が 0.4 ポイント、「持っていない」と回答する割合が 2.1 ポイント増加している。

【多職種とのつながり】

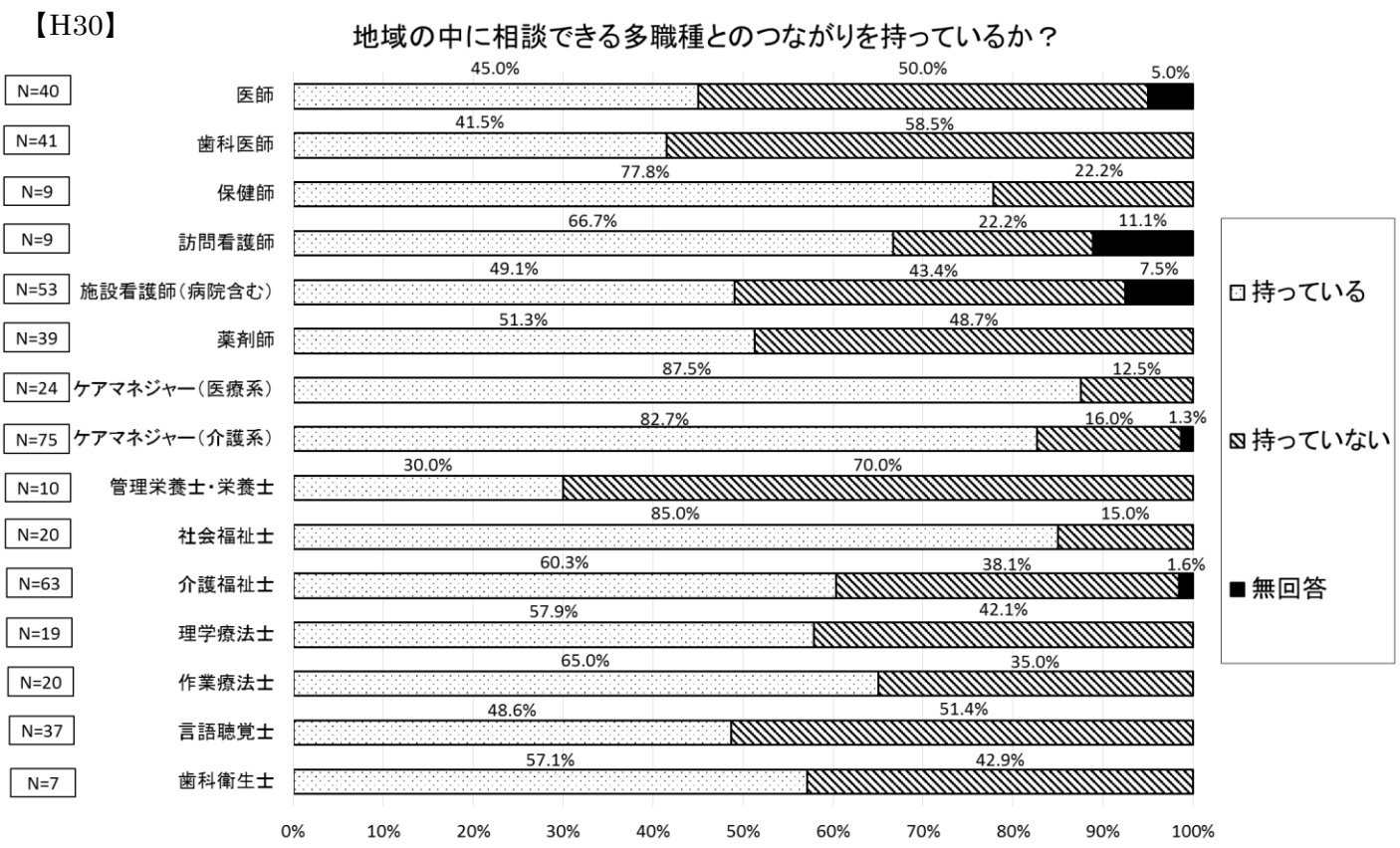


■職種別で見ると、保健師、ケアマネジャー、社会福祉士は「持っている」と回答した割合が 7 割以上となっている。医師、歯科医師、管理栄養士・栄養士、言語聴覚士は「持っていない」と回答した割合が 5 割以上となっている。

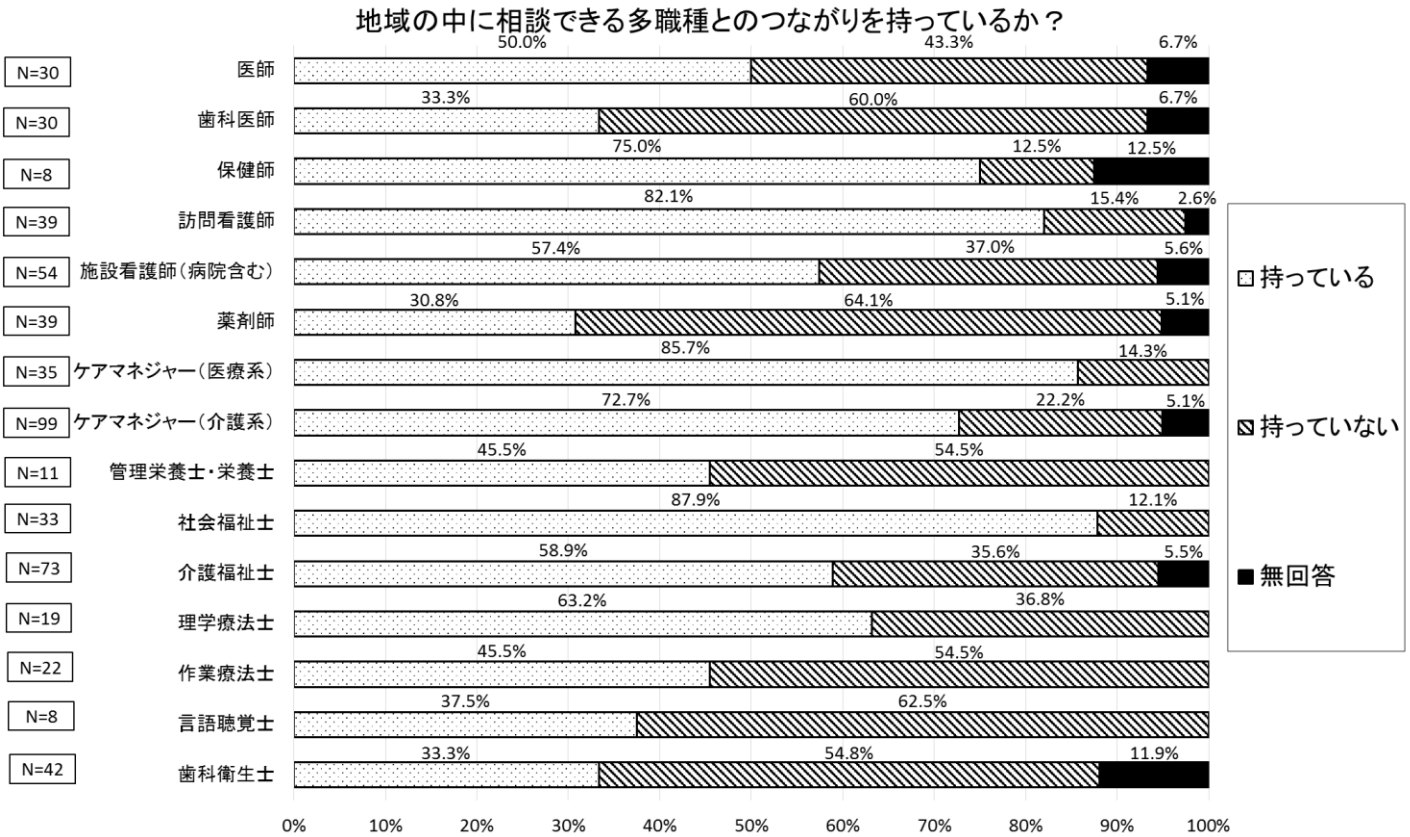
前回の結果と比較すると、薬剤師、ケアマネジャー（介護系）、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士の「持っている」 と回答する割合が 10 ポイント以上増加している。

【職種別】

【H30】



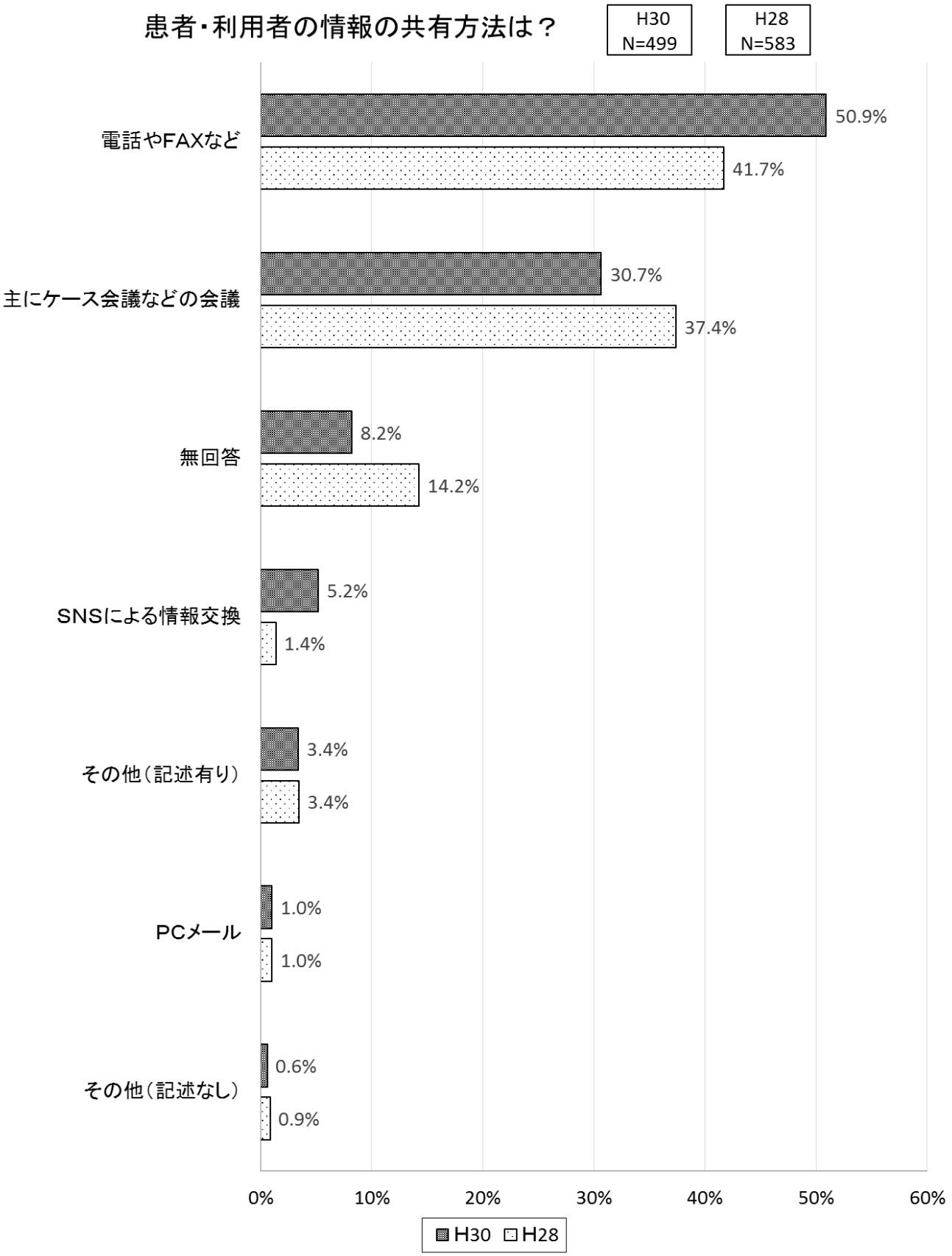
【H28】



質問９　多職種とのつながりにおける患者・利用者の情報の共有方法は？

■患者・利用者の情報の共有方法としては「電話や FAX など」が 50.9%と最も多く、次いで「主にケース会議などの会議」が 30.7%と他の項目に比べ、高い割合になっている。
前回の結果と比較すると、「電話や FAX など」が 9.2 ポイント、「SNS による情報交換」が 3.8 ポイントと大幅に増加している。

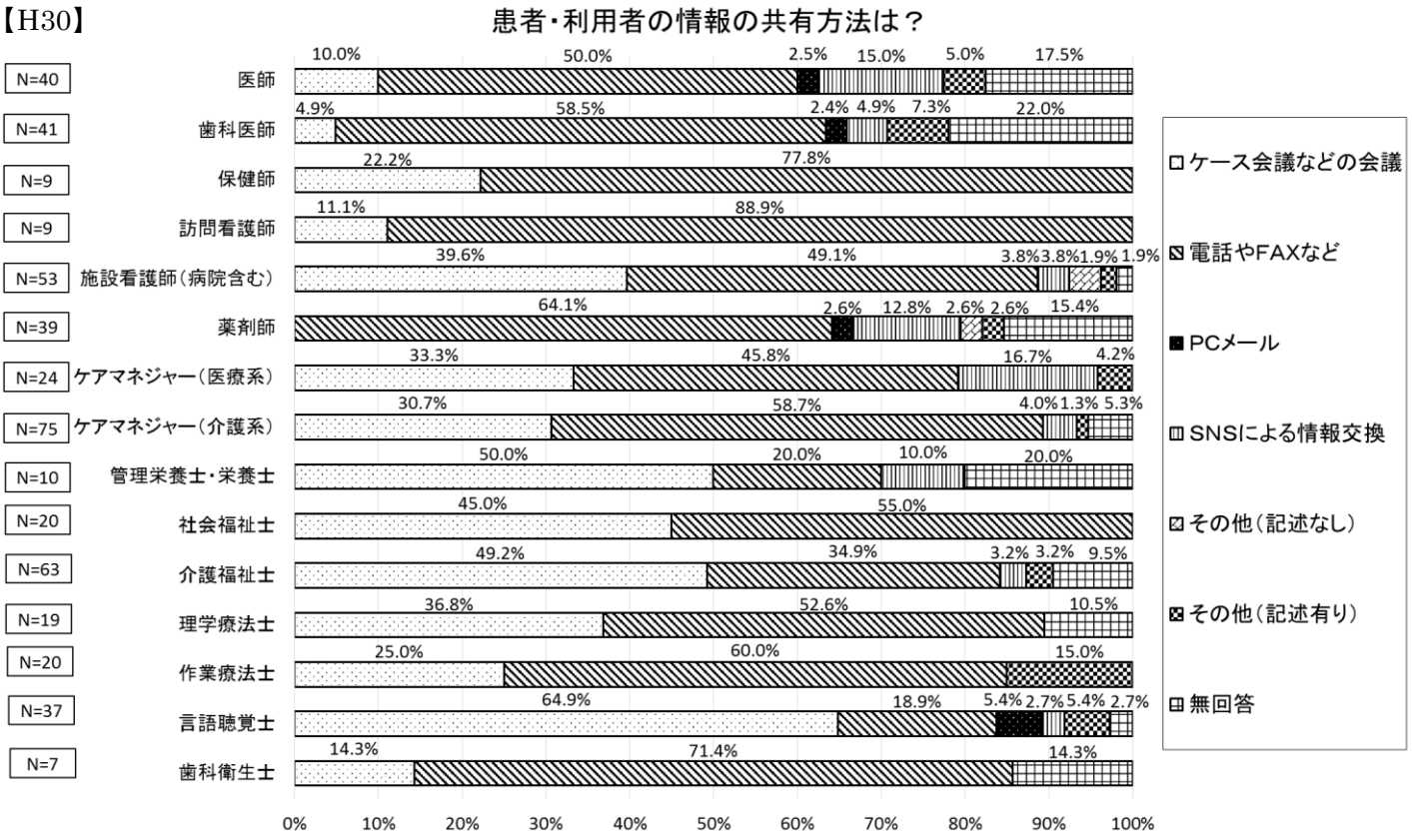
【患者・利用者の情報の共有方法】



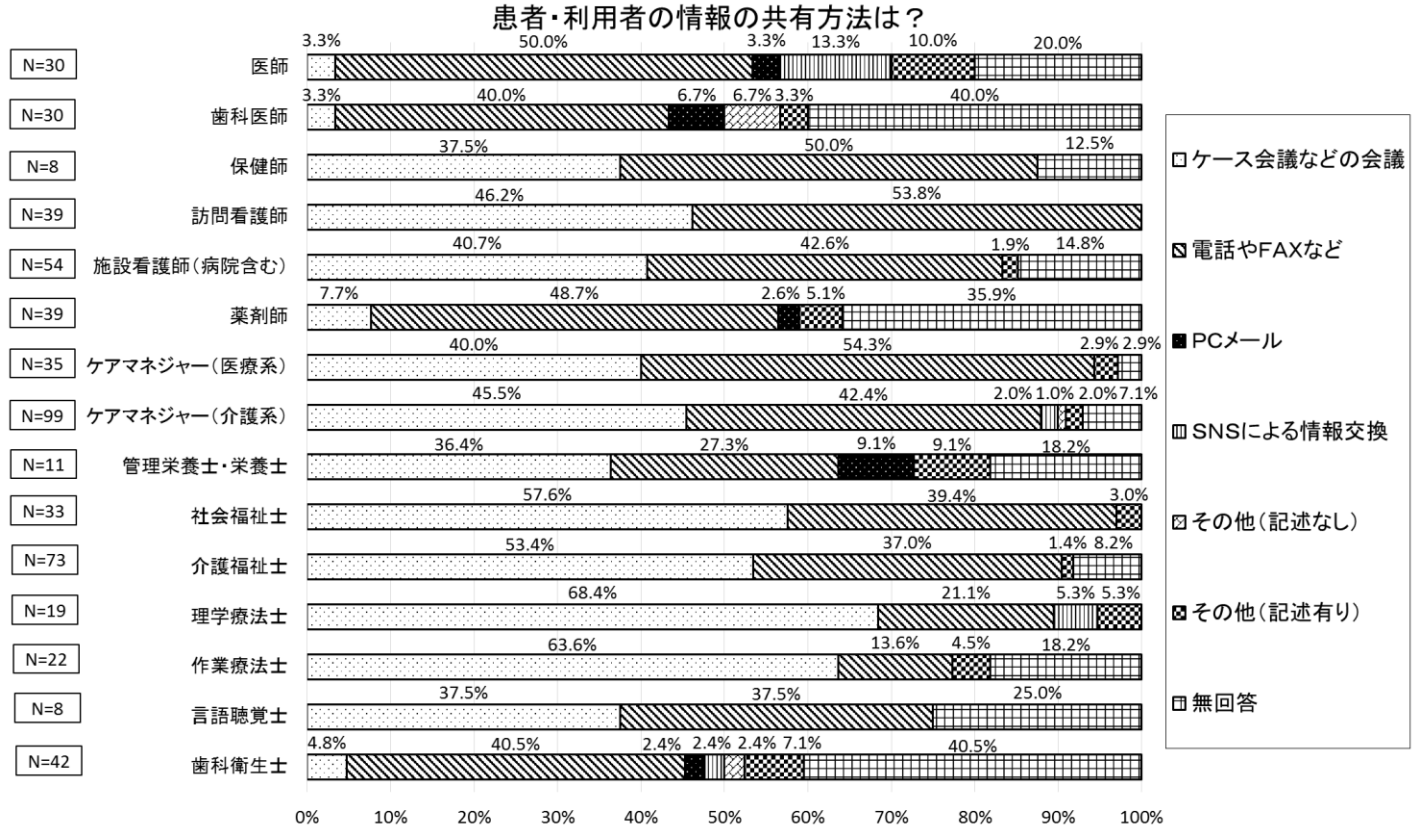
■職種別で見ると、医師、歯科医師、薬剤師は「ケース会議などの会議」と回答した割合が極端に少なく、1割以下となっている。また、管理栄養士・栄養士、介護福祉士、言語聴覚士を除く全ての職種で「電話やFAX など」と回答する割合が最も高い。
前回の結果と比較すると、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー（医療系）、管理栄養士・栄養士の「SNS による情報交換」と回答する割合が 4 ポイント以上増加している。

【職種別】

【H30】



【H28】

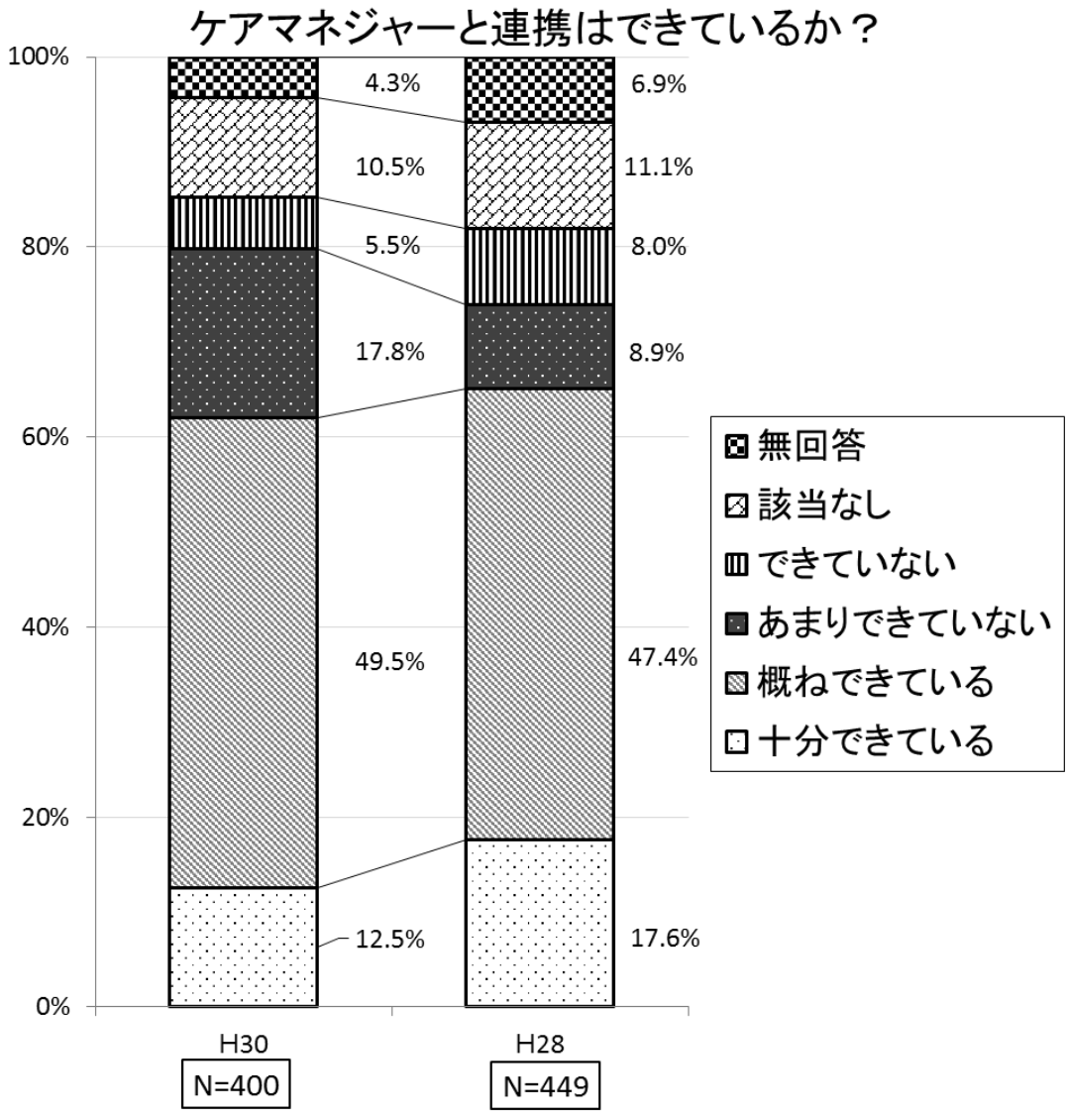


〔ケアマネジャーとの連携に関することについて〕

質問１０　必要に応じてケアマネジャーと連携は出来ていますか？
（ケアマネジャー以外の職種が回答）

■ケアマネジャーとの連携状況としては「概ねできている」が 49.5%と最も多く、次いで「あまりできていない」が 17.8%となっている。『できている』（十分できている+概ねできている）と回答する割合が 62.0%、『できていない』（あまりできていない+できていない）と回答する割合が 23.3%となっている。
前回の結果と比較すると、「十分できている」と回答する割合が 12.5%（前回比▲5.1%）、「あまりできていない」と回答する割合が 17.8%（前回比△8.9%）となり、『できている』（前回比▲3.0%）割合が減少し、『できていない』（前回比△6.4%）割合が増加している。

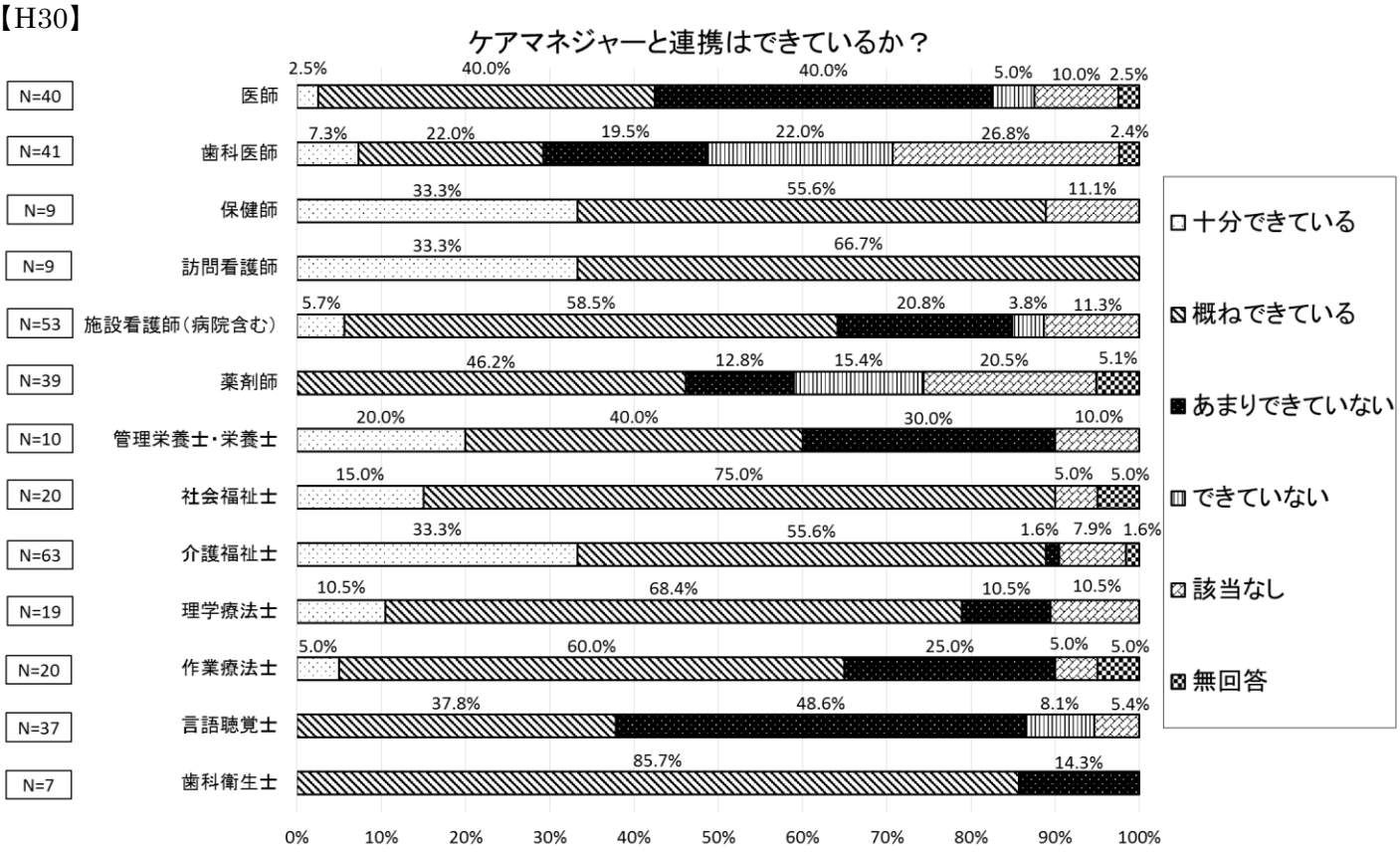
【ケアマネジャーとの連携状況】



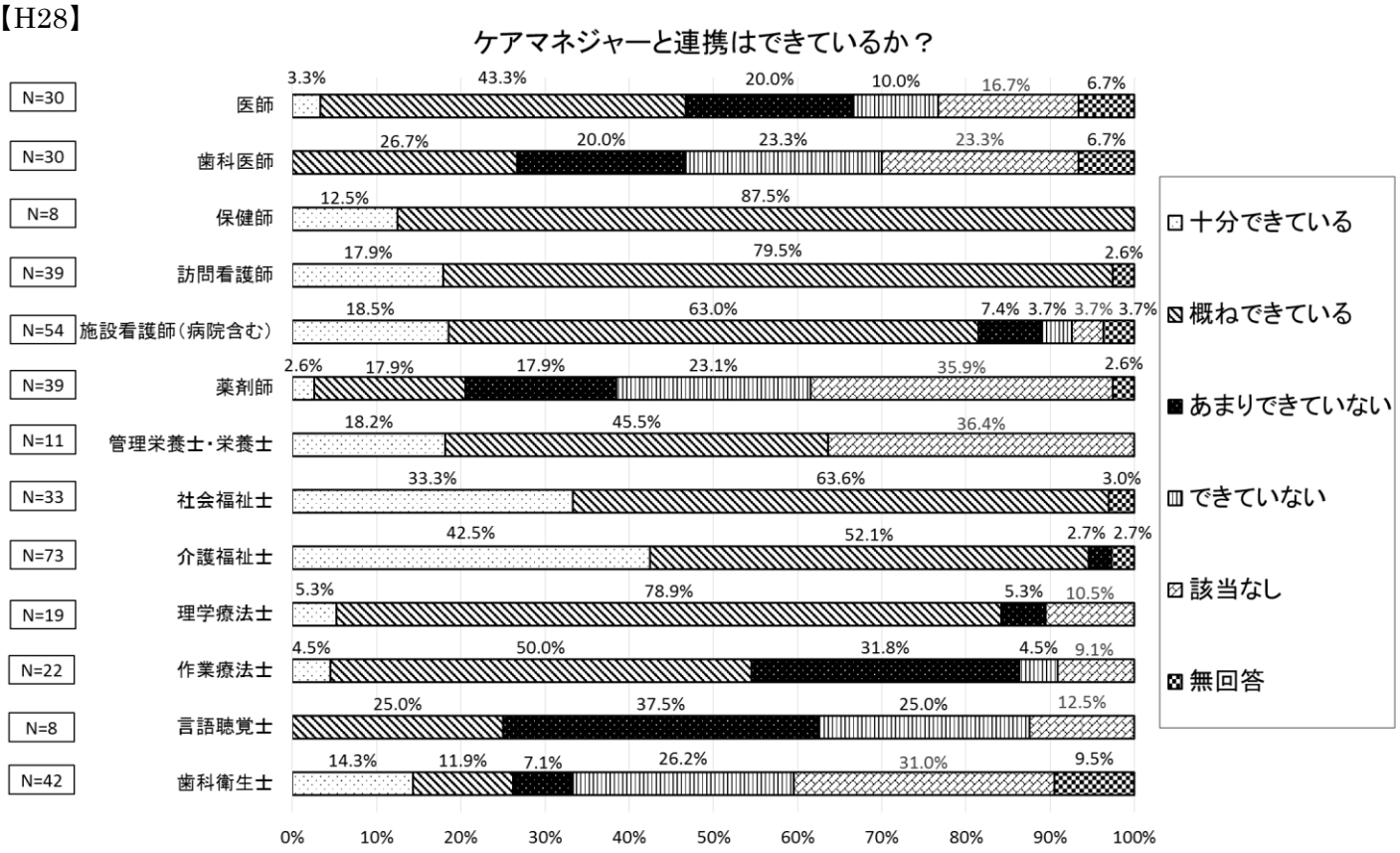
■職種別で見ると、保健師、訪問看護師、社会福祉士、介護福祉士、歯科衛生士は『できている』と回答した割合が 8 割以上となっている。医師、歯科医師、言語聴覚士は『できていない』と回答した割合が 4 割以上となっている。
前回の結果と比較すると、薬剤師、歯科衛生士が『できている』と回答する割合が 20 ポイント以上増加している。

【職種別】

【H30】



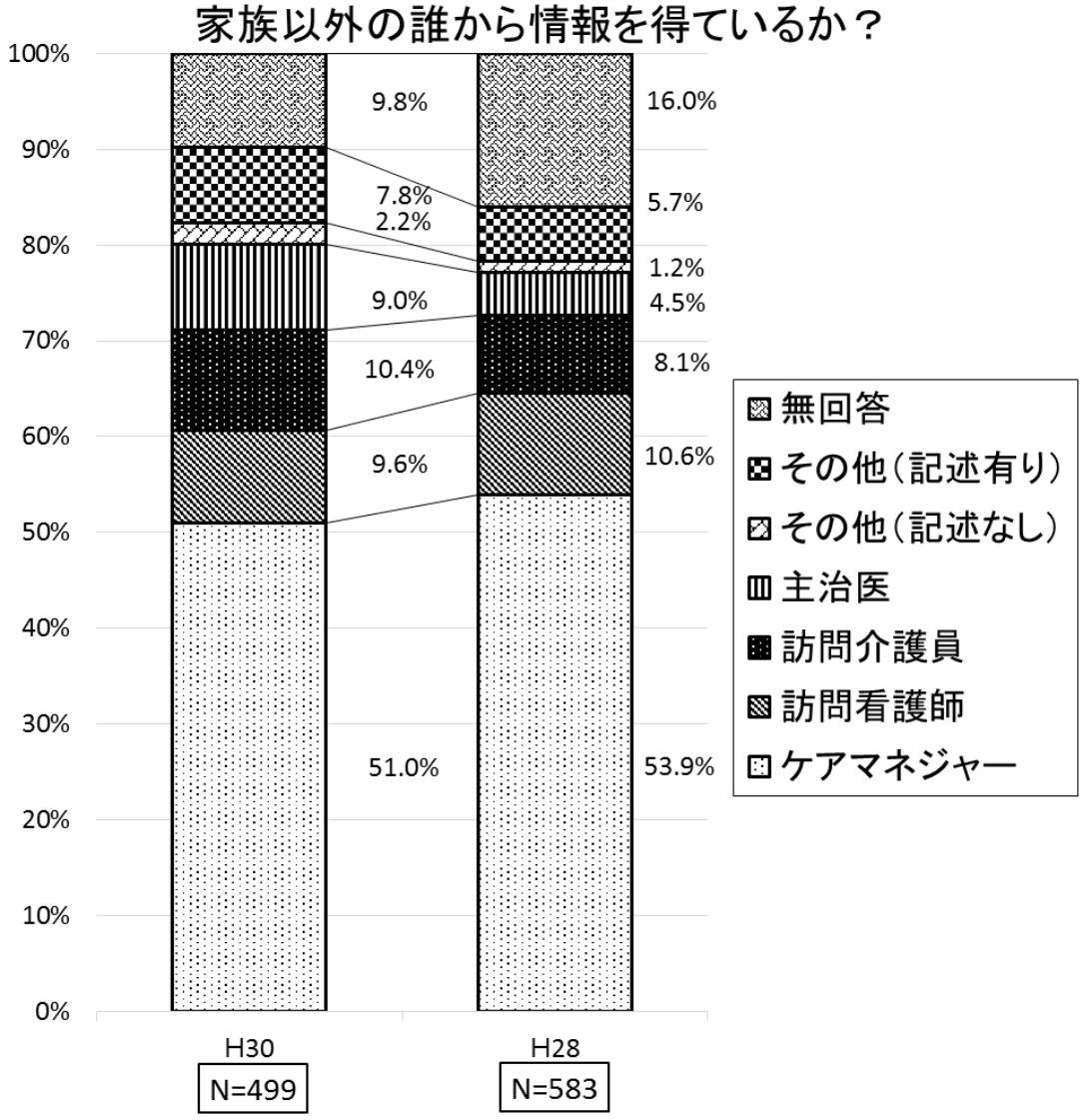
【H28】



質問１１　利用者（患者）の生活状態について家族以外の誰から情報を得ていますか？

■利用者（患者）の生活状態の情報については、「ケアマネジャー」から得ていると回答した割合が 51.0%と他の項目に比べ、高い割合になっている。
前回の結果と比較すると、「主治医」、「訪問介護員」と回答した割合が 2 ポイント以上増加している。

【利用者（患者）の生活状態の情報】

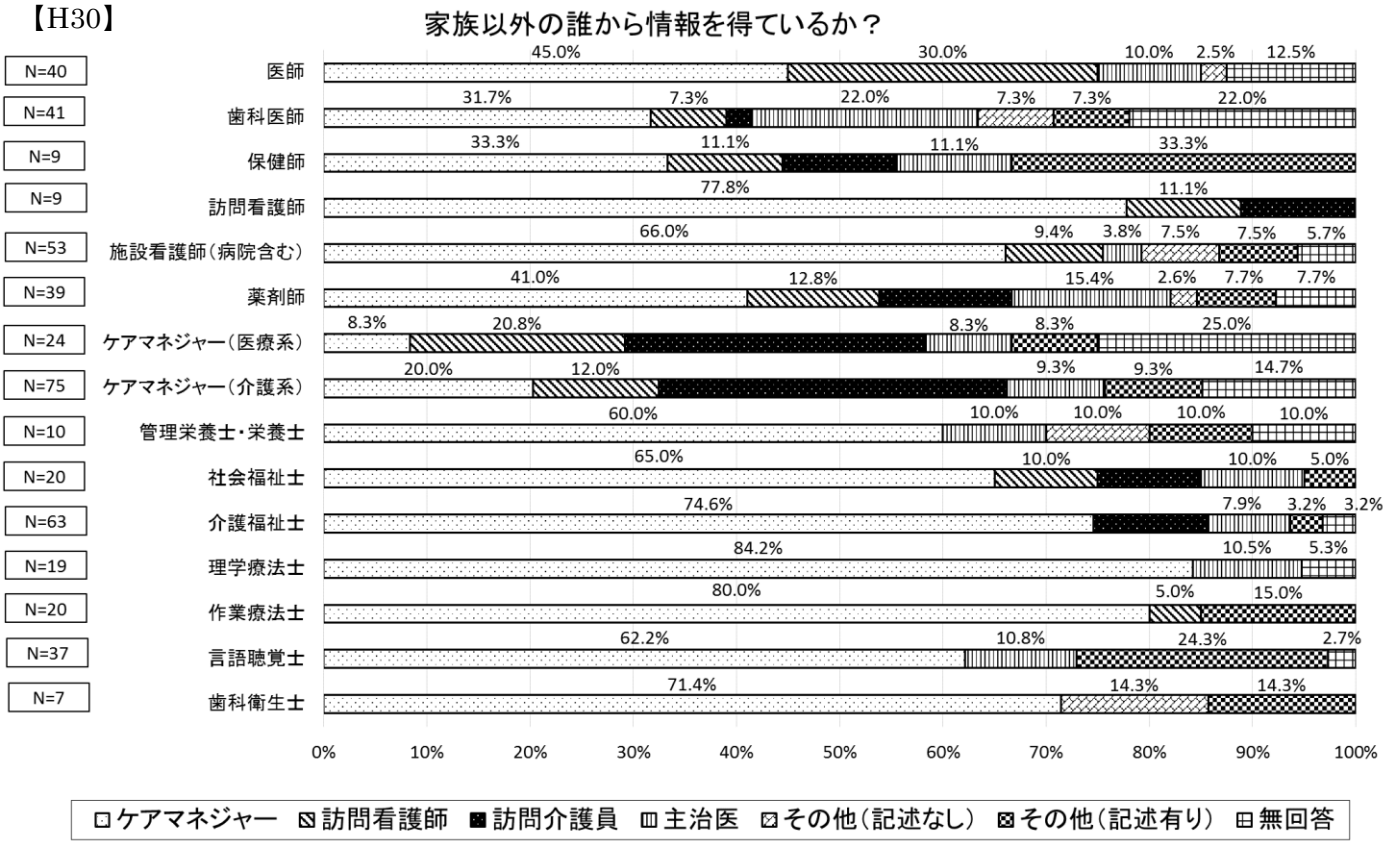


■職種別で見ても、ケアマネジャー以外の職種は、「ケアマネジャー」から利用者（患者）の生活状態の情報を得ていると回答した割合が高い。また、ケアマネジャーは、「訪問介護員」から情報を得ていると回答した割合が高い。

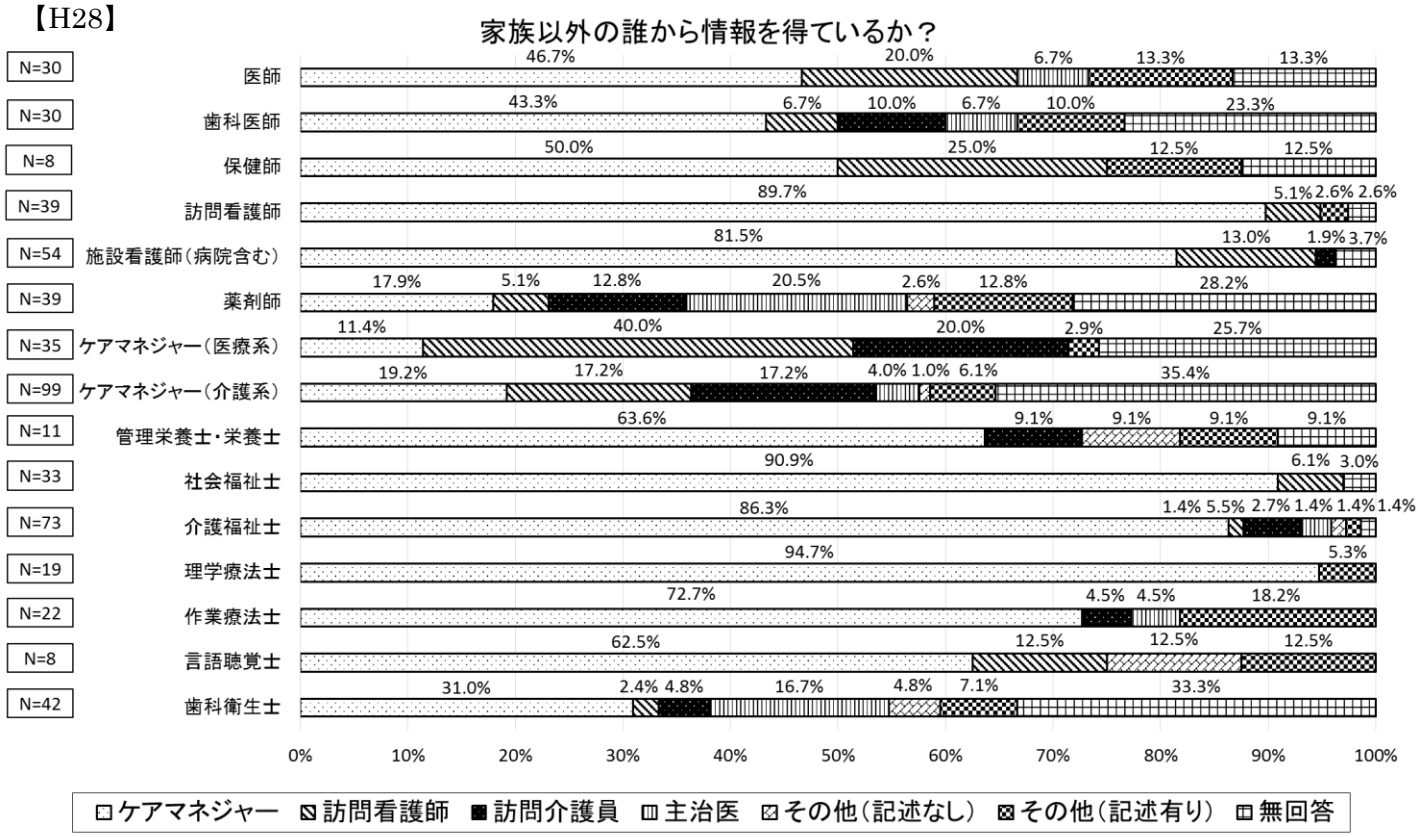
前回の結果と比較すると、薬剤師、歯科衛生士の「ケアマネジャー」と回答する割合が 20 ポイント以上、ケアマネジャー(介護系)の「訪問介護員」と回答する割合が 10 ポイント以上、歯科医師の「主治医」と回答する割合が 10 ポイント以上増加している。

【職種別】

【H30】



【H28】

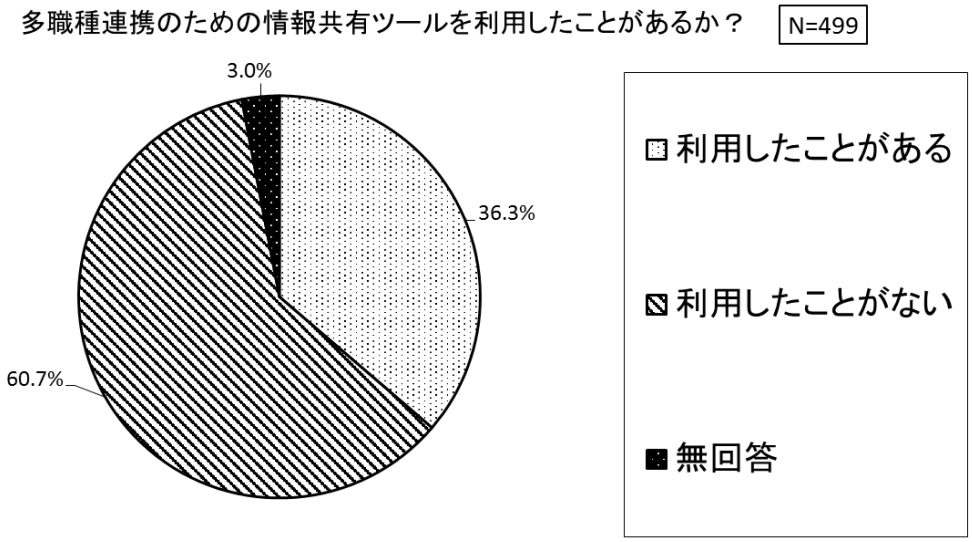


〔日常の業務における、多職種との情報共有の方法について〕

質問１２　多職種連携のための情報共有ツールを利用したことがありますか？

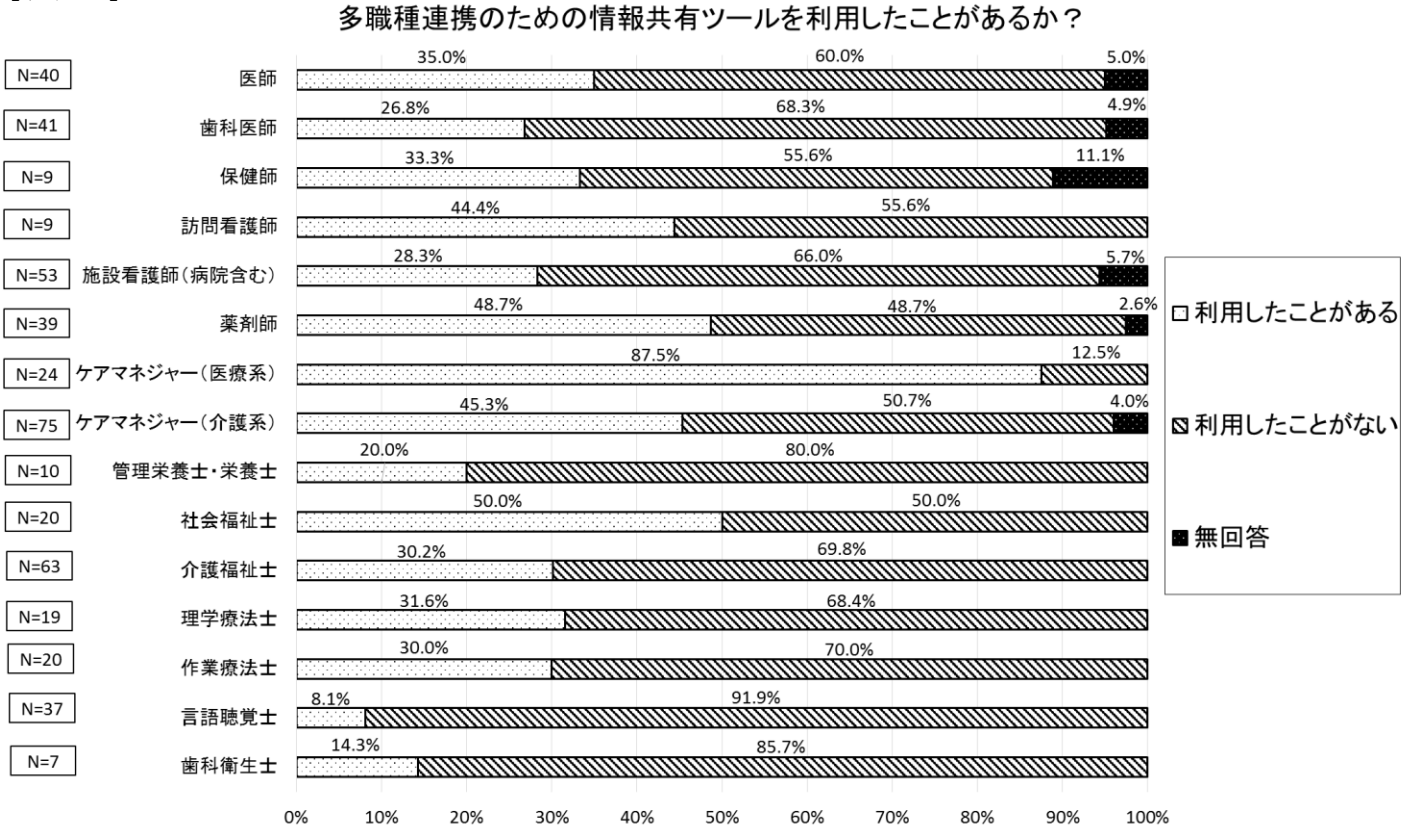
■多職種連携のための情報共有ツールについては、「利用したことがない」と回答した割合が 60.7%、「利用したことがある」と回答した割合が 36.3%となっている。

【多職種との情報共有の方法】



■職種別で見ると、ケアマネジャー（医療系）は「利用したことがある」と回答した割合が 8 割以上となっている。管理栄養士・栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士は「利用したことがない」と回答した割合が 8 割以上となっている。

【職種別】

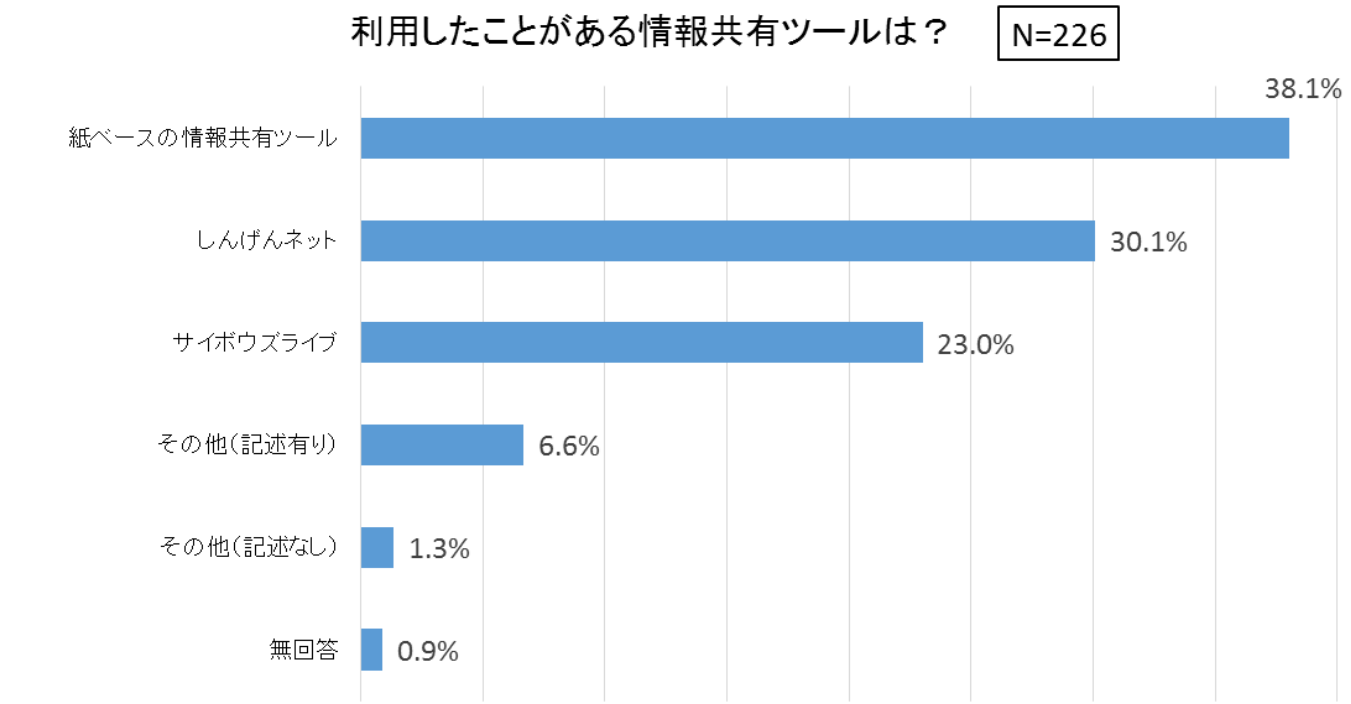


質問１２で「１．利用したことがある」と回答された方にお伺いします。

質問１２－１　利用したことがある情報共有ツールをお答えください。

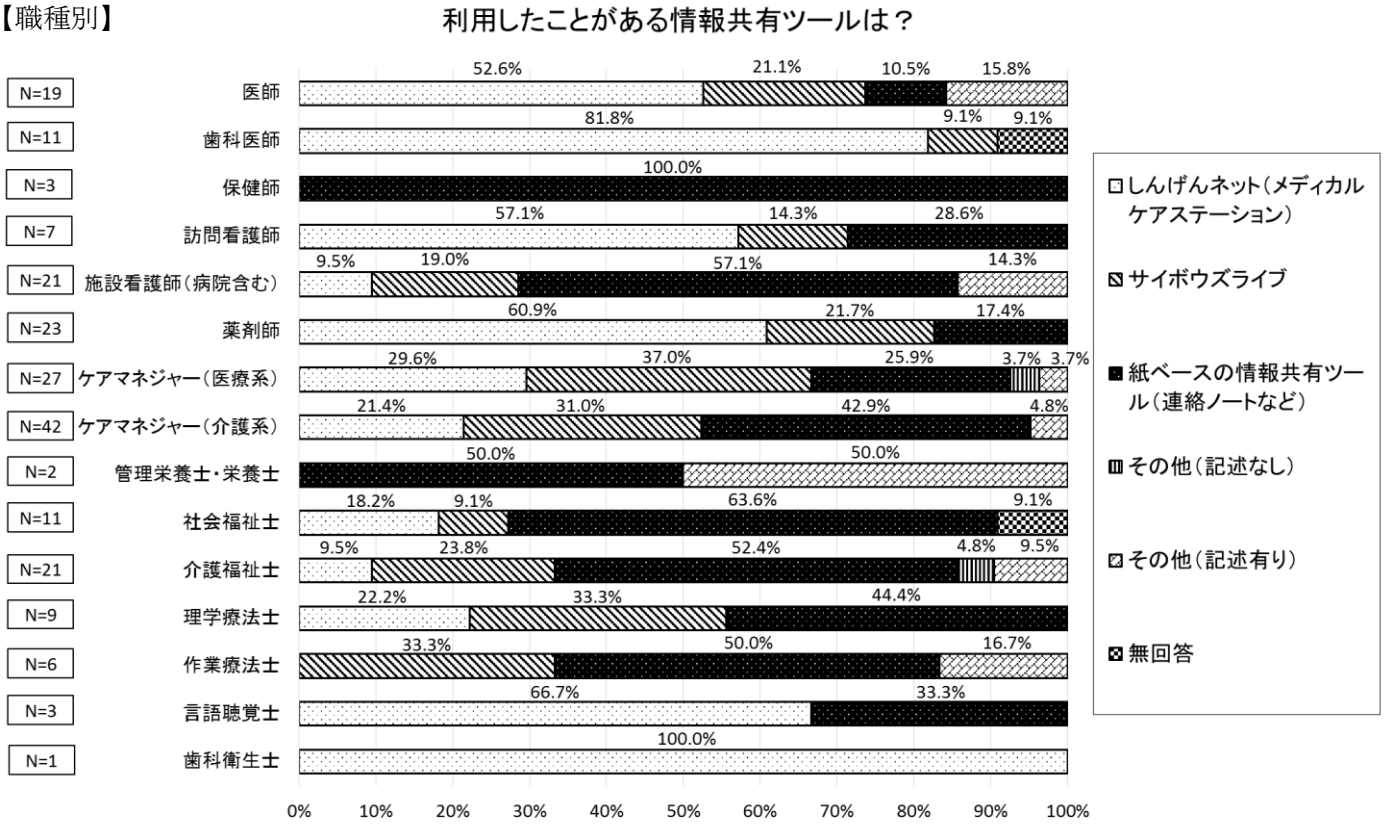
■利用したことがある情報共有ツールについては、「紙ベースの情報共有ツール」が 38.1%と最も多く、次いで「しんげんネット」が 30.1%、「サイボウズライブ」が 23.0%となっている。

【利用したことがある情報共有ツール】



■職種別で見ると、保健師、施設看護師、管理栄養士・栄養士、社会福祉士、介護福祉士、作業療法士は「紙ベースの情報共有ツール」と回答した割合が 5 割以上となっている。医師、歯科医師、訪問看護師、薬剤師、言語聴覚士、歯科衛生士は「しんげんネット」と回答した割合が 5 割以上となっている。

【職種別】

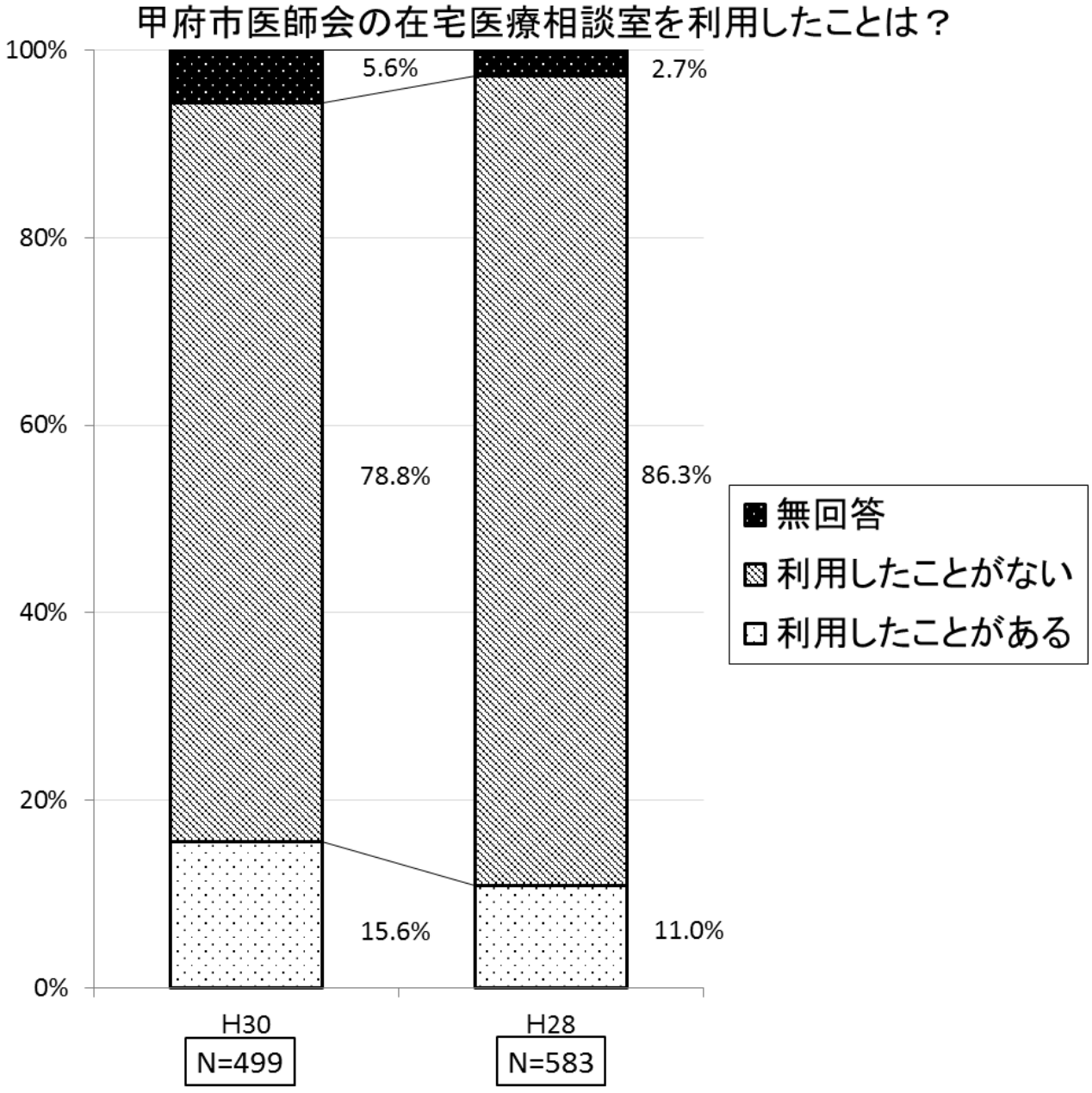


〔相談支援に関することについて〕

質問１５　甲府市医師会の在宅医療相談室を利用したことはありますか？

■甲府市医師会の在宅医療相談室の利用については、「利用したことがない」と回答した割合が 78.8%、「利用したことがある」と回答した割合が 15.6%となっている。
前回の結果と比較すると、「利用したことがある」と回答した割合が 4.6 ポイント増加し、「利用したことがない」と回答した割合が 7.5 ポイント減少している。

【甲府市医師会の在宅医療相談室の利用状況】

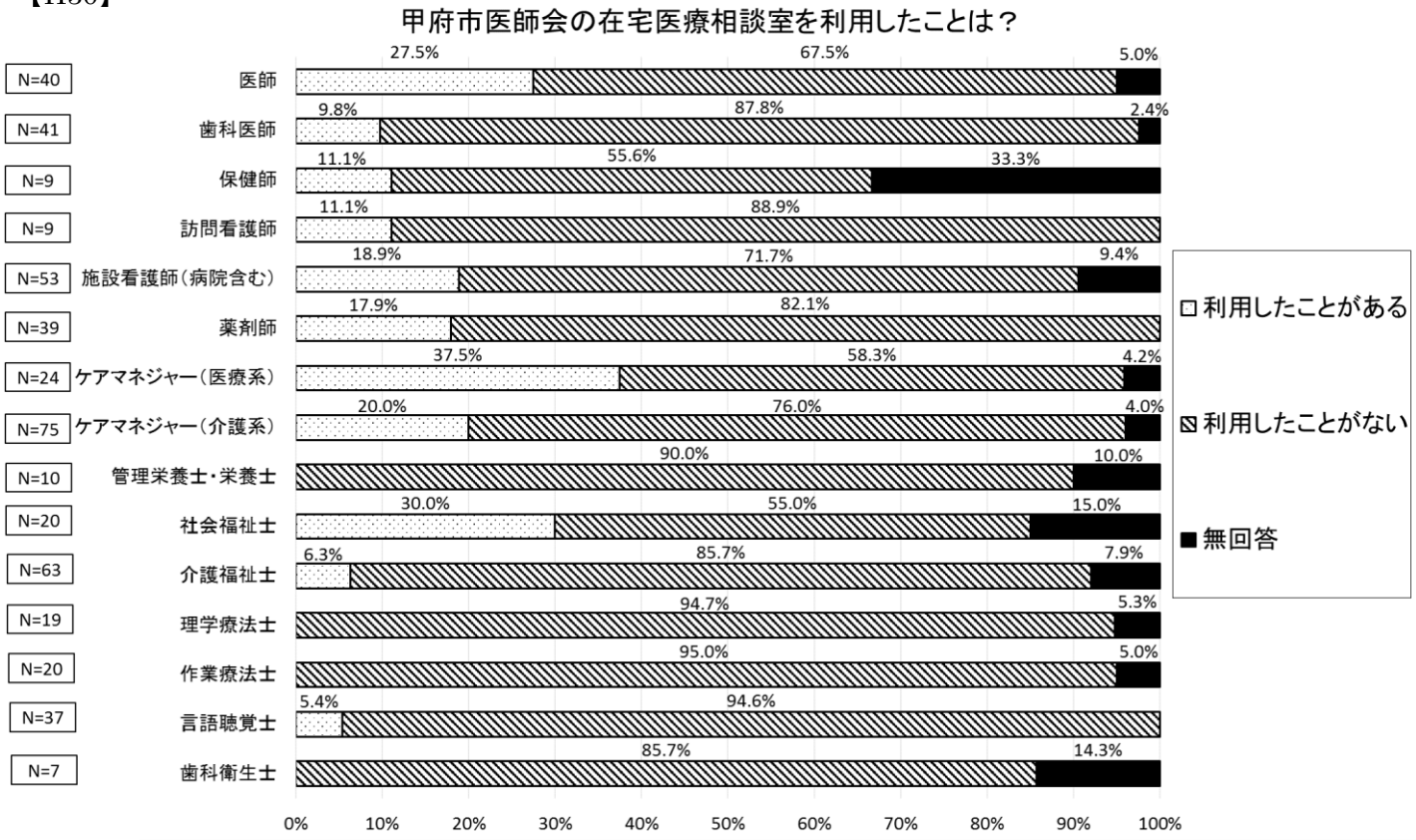


■職種別で見ると、医師、ケアマネジャー、社会福祉士は「利用したことがある」と回答した割合が 2 割以上となっている。管理栄養士・栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士は「利用したことがない」と回答した割合が 9 割以上となっている。

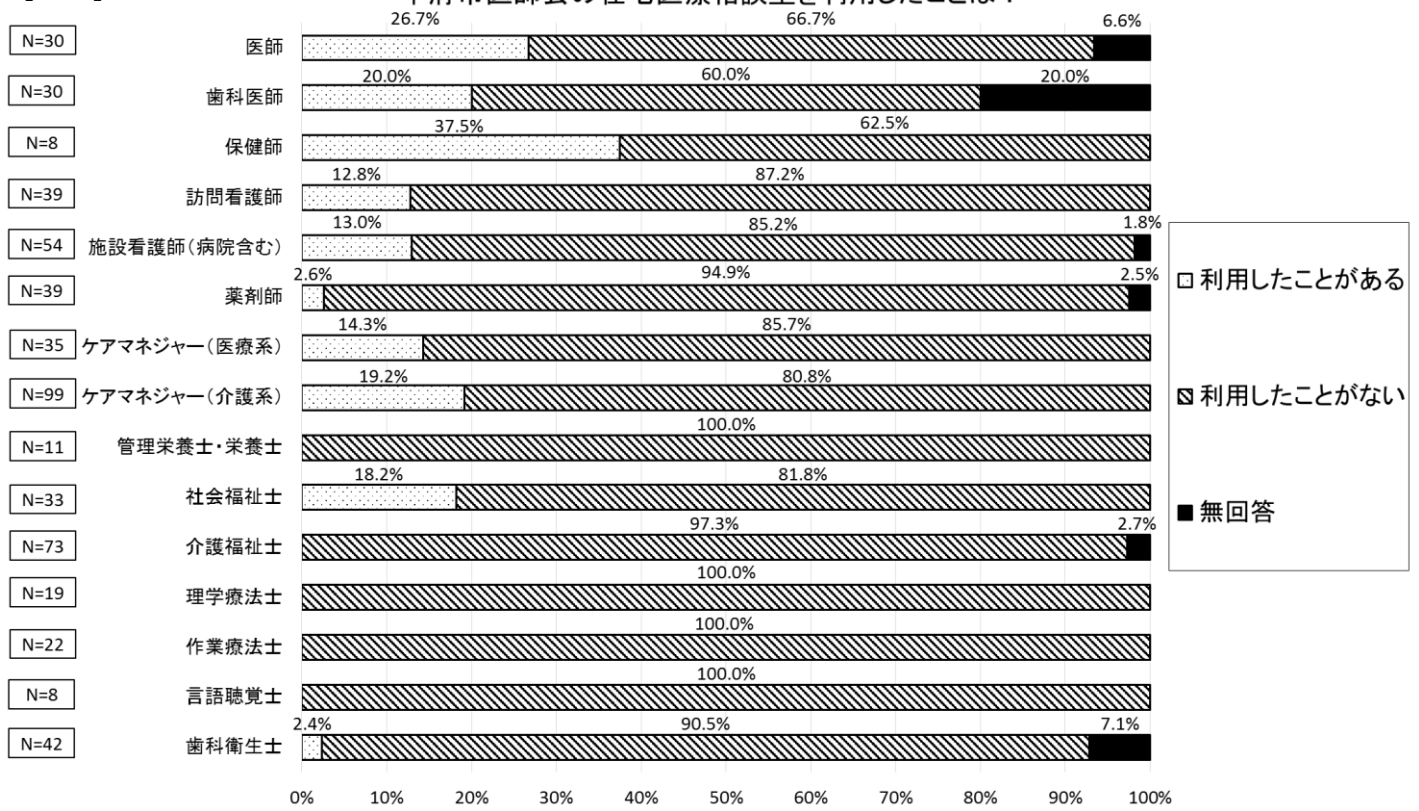
前回の結果と比較すると、施設看護師、薬剤師、ケアマネジャー、社会福祉士の「利用したことがある」と回答した割合が増加している。また、介護福祉士、言語聴覚士などの職種も「利用したことがある」と回答するようになっている。

【職種別】

【H30】



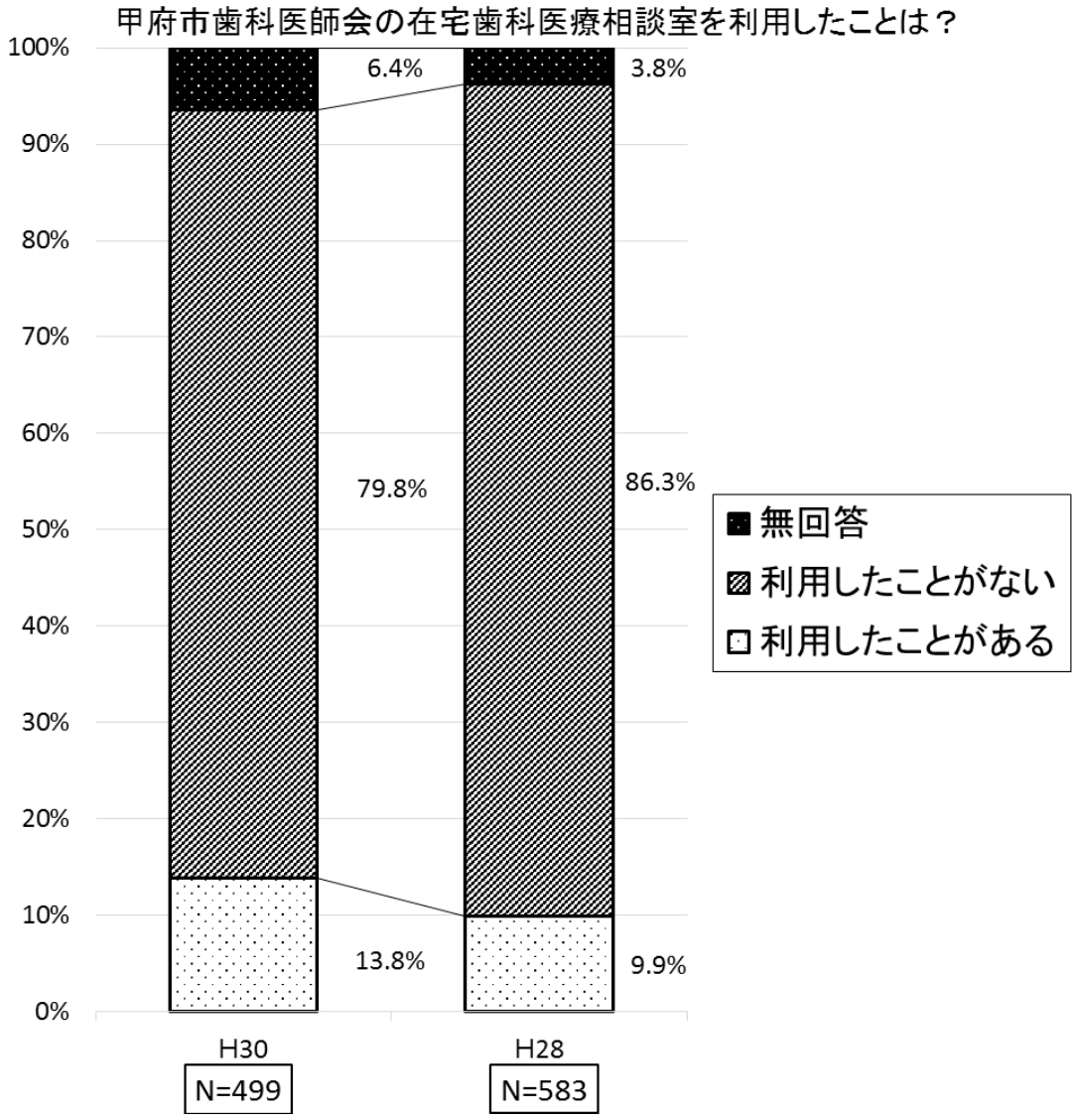
【H28】



質問１６　甲府市歯科医師会の在宅歯科医療相談室を利用したことはありますか？

■甲府市歯科医師会の在宅歯科医療相談室の利用については、「利用したことがない」が 79.8%、「利用したことがある」が 13.8%となっている。
前回の結果と比較すると、「利用したことがある」と回答した割合が 3.9 ポイント増加し、「利用したことがない」と回答した割合が 6.5 ポイント減少している。

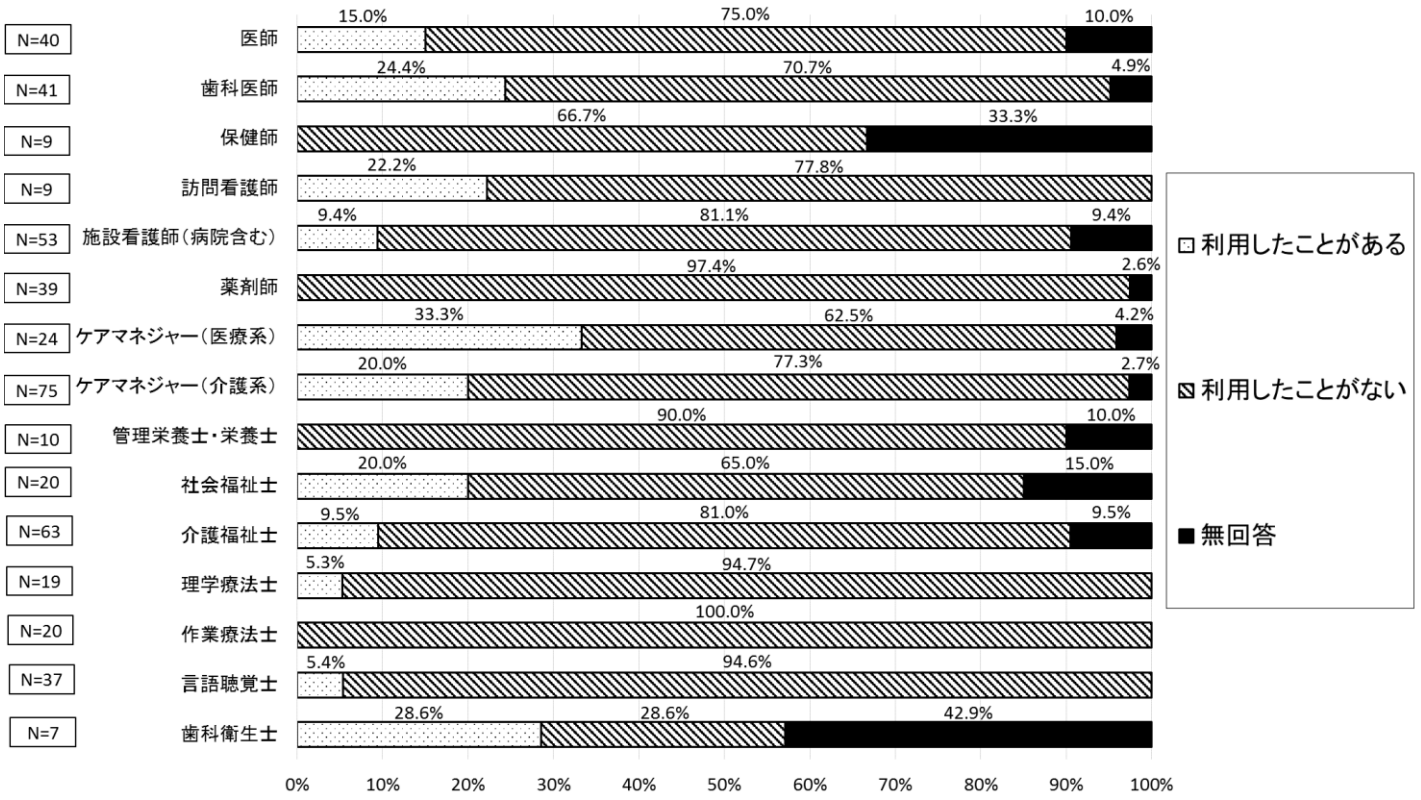
【甲府市歯科医師会の在宅歯科医療相談室の利用状況】



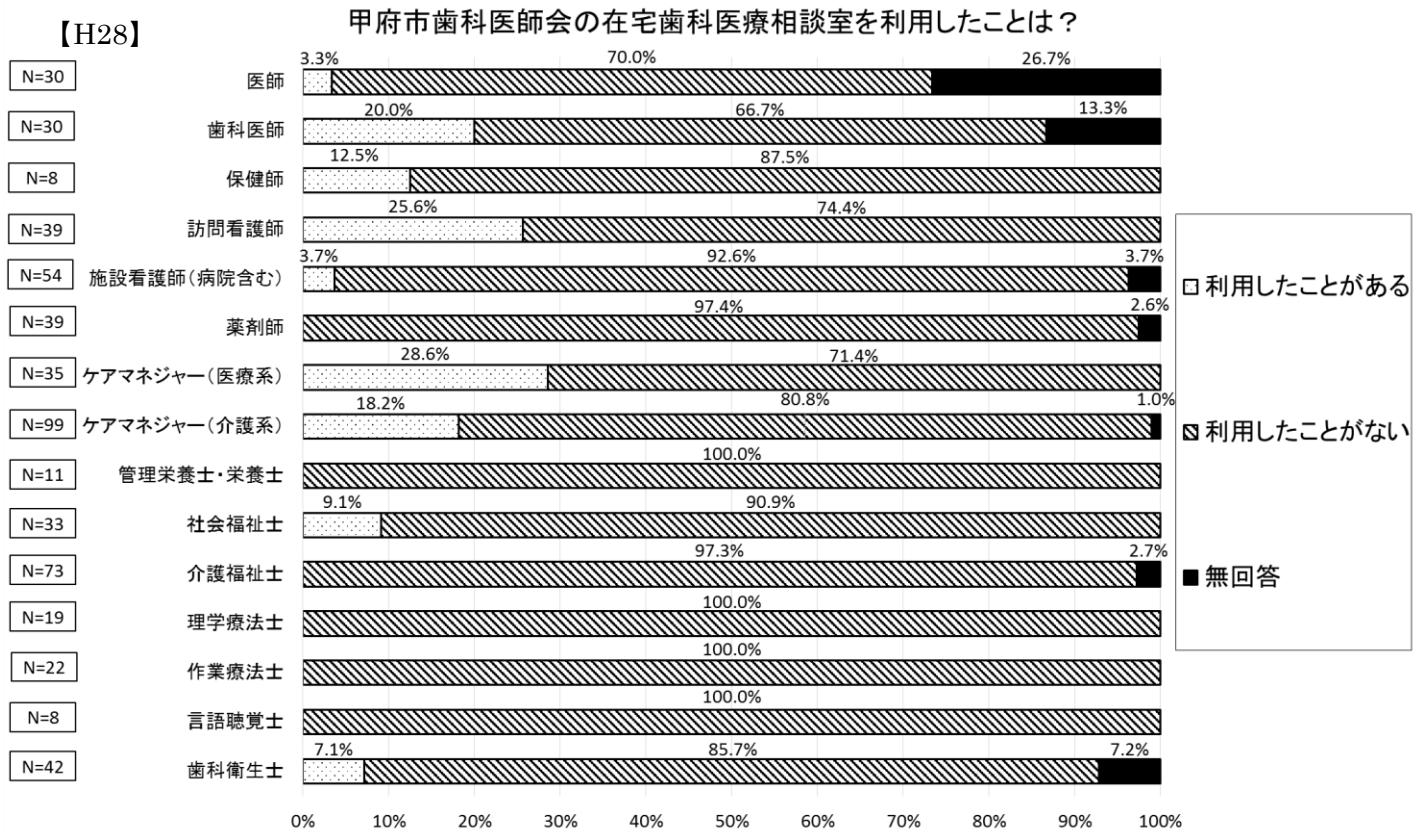
■職種別で見ると、歯科医師、訪問看護師、ケアマネジャー、社会福祉士、歯科衛生士は「利用したことがある」と回答した割合が 2 割以上となっている。薬剤師、管理栄養士・栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士は「利用したことがない」と回答した割合が 9 割以上となっている。
前回の結果と比較すると、医師、施設看護師、社会福祉士、歯科衛生士の「利用したことがある」と回答した割合が 5 ポイント以上増加している。また、介護福祉士、理学療法士、言語聴覚士などの職種も「利用したことがある」と回答するようになっている。

【職種別】

【H30】



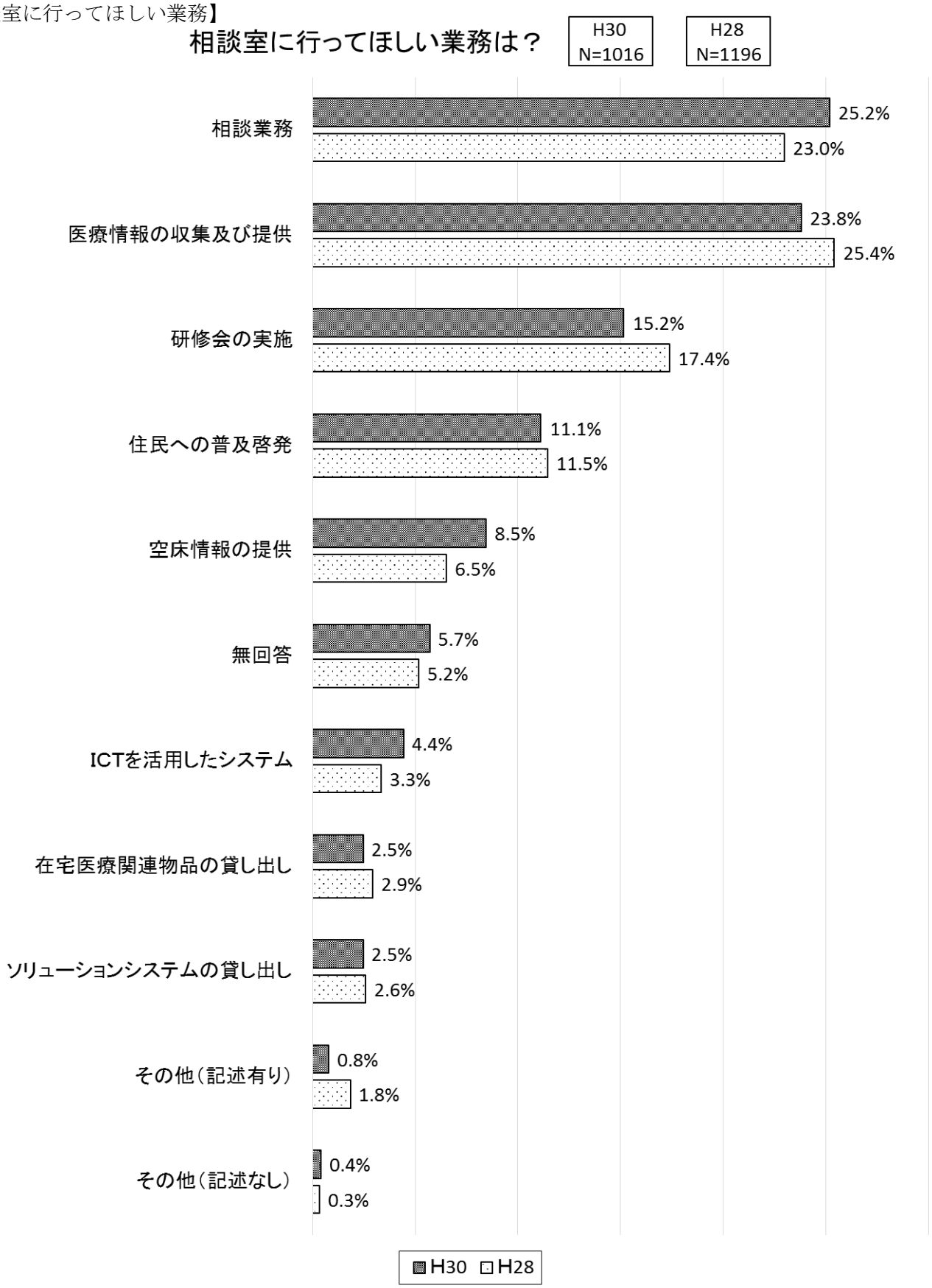
【H28】



質問１７　相談室に行ってほしい業務は？（最大３つまで）

■相談室に行ってほしい業務としては、「相談業務」が 25.2%と最も多く、次いで「医療情報の収集及び提供」が 23.8%と他の項目に比べ、高い割合になっている。
前回の結果と比較すると、「相談業務」、「空床情報の提供」、「ICT を活用したシステム」と回答した割合が 1 ポイント以上増加している。

【相談室に行ってほしい業務】



■質問 17 を職種ごとにまとめたものが以下の表となっている。
職種別で見ても、全職種で「医療情報の収集及び提供」、「相談業務」と回答する割合が高い。

【職種別】上位３項目まで抽出

職種	平成30年度		平成28年度	
	相談室に行ってほしい業務	構成比（%）	相談室に行ってほしい業務	構成比（%）
医師	相談業務	25.9%	医療情報の収集及び提供	25.9%
	医療情報の収集及び提供	21.0%	相談業務	24.1%
	空床情報の提供	13.6%	研修会の実施	11.1%
歯科医師	医療情報の収集及び提供	25.9%	医療情報の収集及び提供	23.5%
	相談業務	24.7%	住民への普及啓発	19.6%
	住民への普及啓発	13.6%	無回答	19.6%
保健師	**相談業務**	**35.3%**	**医療情報の収集及び提供**	**31.6%**
	医療情報の収集及び提供	29.4%	相談業務	26.3%
	空床情報の提供	11.8%	住民への普及啓発	21.1%
訪問看護師	相談業務	23.8%	医療情報の収集及び提供	26.4%
	医療情報の収集及び提供	23.8%	相談業務	22.0%
	研修会の実施	14.3%	住民への普及啓発	15.4%
施設看護師	相談業務	26.0%	医療情報の収集及び提供	26.4%
	医療情報の収集及び提供	17.7%	相談業務	26.4%
	研修会の実施	13.5%	研修会の実施	10.4%
薬剤師	相談業務	26.2%	医療情報の収集及び提供	25.7%
	医療情報の収集及び提供	26.2%	研修会の実施	24.3%
	研修会の実施	19.0%	相談業務	21.6%
ケアマネジャー（医療系）	医療情報の収集及び提供	26.5%	医療情報の収集及び提供	27.1%
	相談業務	22.4%	相談業務	24.7%
	空床情報の提供	12.2%	研修会の実施	17.6%
ケアマネジャー（介護系）	相談業務	27.4%	相談業務	29.4%
	医療情報の収集及び提供	24.4%	医療情報の収集及び提供	24.6%
	空床情報の提供	13.7%	研修会の実施	18.4%
管理栄養士・栄養士	医療情報の収集及び提供	25.0%	**研修会の実施**	**37.5%**
	研修会の実施	25.0%	医療情報の収集及び提供	18.8%
	相談業務	18.8%	相談業務	12.5%
社会福祉士	医療情報の収集及び提供	27.3%	医療情報の収集及び提供	29.3%
	相談業務	22.7%	相談業務	18.7%
	住民への普及啓発	13.6%	研修会の実施	16.0%
介護福祉士	医療情報の収集及び提供	22.8%	研修会の実施	27.6%
	研修会の実施	21.9%	医療情報の収集及び提供	22.0%
	相談業務	17.5%	相談業務	19.7%
理学療法士	医療情報の収集及び提供	25.0%	相談業務	24.4%
	相談業務	25.0%	医療情報の収集及び提供	22.2%
	研修会の実施	16.7%	研修会の実施	20.0%
作業療法士	**医療情報の収集及び提供**	**31.0%**	医療情報の収集及び提供	27.8%
	相談業務	26.2%	相談業務	20.4%
	研修会の実施	16.7%	研修会の実施	20.4%
言語聴覚士	**相談業務**	**37.0%**	医療情報の収集及び提供	29.4%
	医療情報の収集及び提供	19.2%	相談業務	23.5%
	研修会の実施	17.8%	研修会の実施	23.5%
歯科衛生士	医療情報の収集及び提供	27.3%	医療情報の収集及び提供	20.0%
	住民への普及啓発	18.2%	研修会の実施	18.5%
	ＩＣＴを活用したシステム	18.2%	住民への普及啓発	18.5%

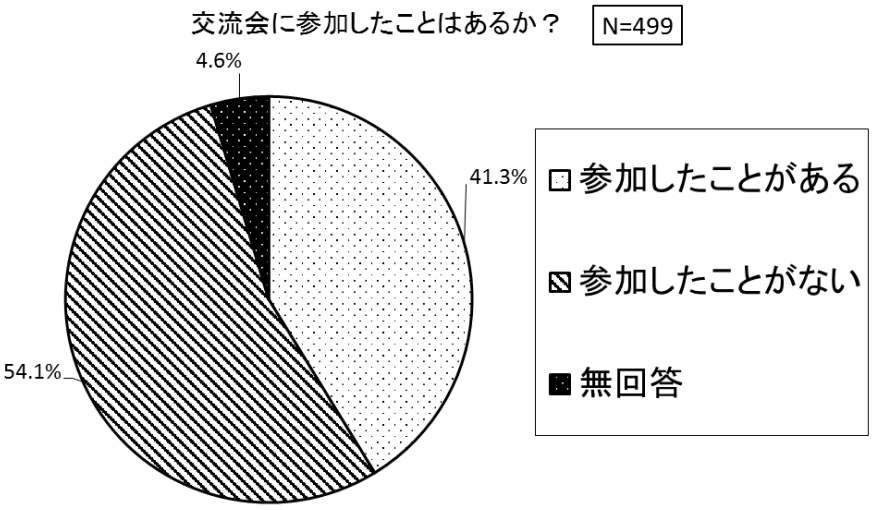
※１　構成比 30%以上の項目は太字で記述　　※２　同率の場合、質問項目の若い順に抽出

〔医療と介護の連携に関する研修について〕

質問１８　本市で開催している「医療・介護連携　顔の見える関係づくり交流会」（以下、交流会）に参加したことはありますか？

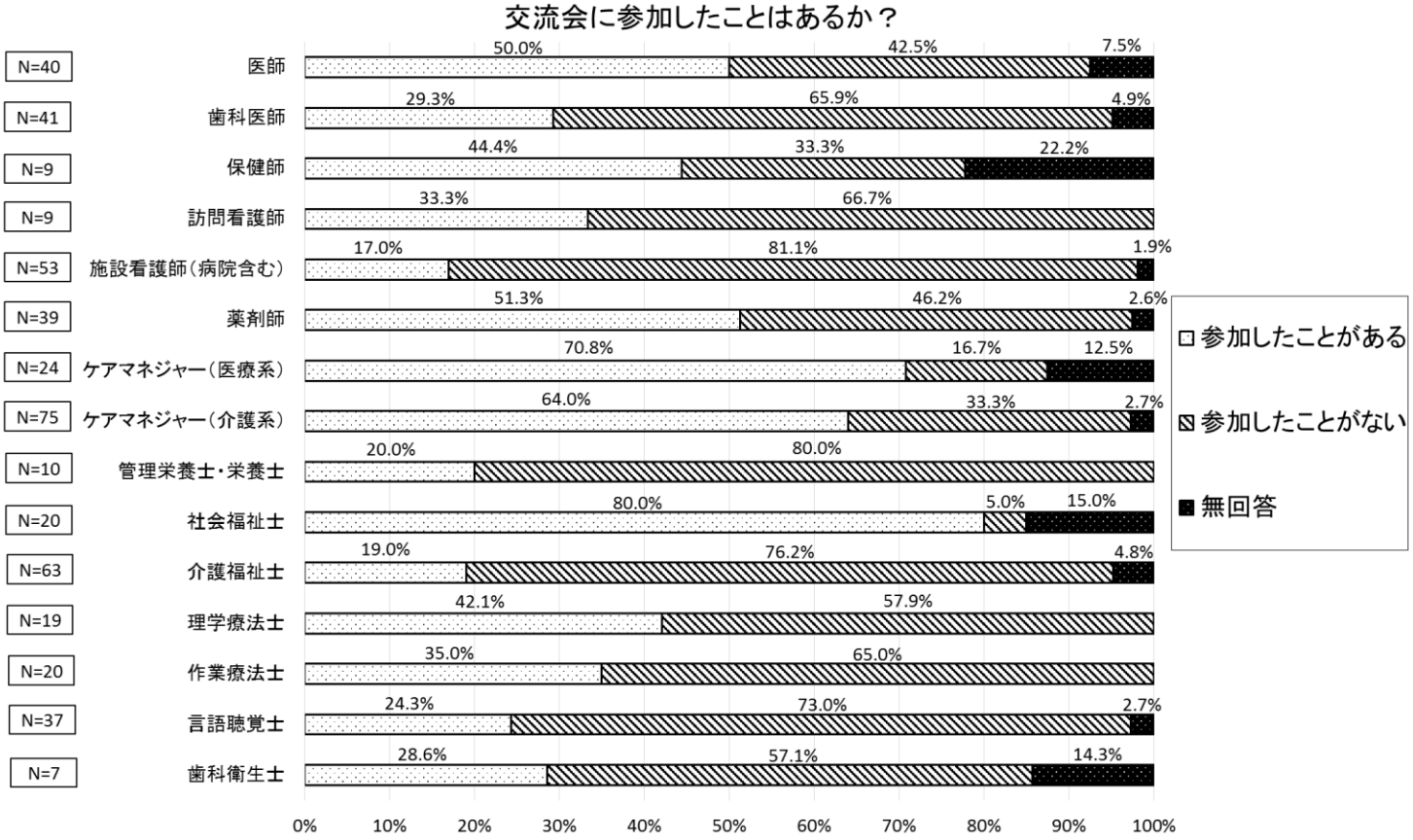
■「医療・介護連携　顔の見える関係づくり交流会」の参加状況については、「参加したことがない」と回答した割合が 54.1%、「参加したことがある」と回答した割合が 41.3%となっている。

【交流会への参加状況】



■職種別で見ると、医師、薬剤師、ケアマネジャー、社会福祉士は「参加したことがある」と回答した割合が 5 割以上となっている。施設看護師、管理栄養士・栄養士、介護福祉士、言語聴覚士は「参加したことがない」と回答した割合が 7 割以上となっている。

【職種別】



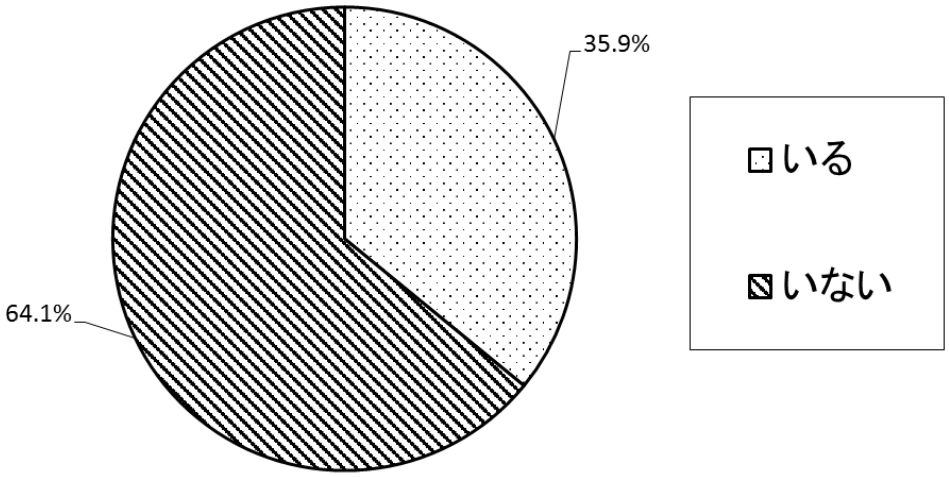
質問１８で「１．参加したことがある」と回答された方にお伺いします。

質問１８－１　交流会を機に連携関係を構築し、その後も連携をとっている方はいますか？

■「交流会を機に連携関係を構築し、その後も連携をとっている方」については、「いない」と回答した割合が 64.1%、「いる」と回答した割合が 35.9%となっている。

【交流会参加後の連携状況】

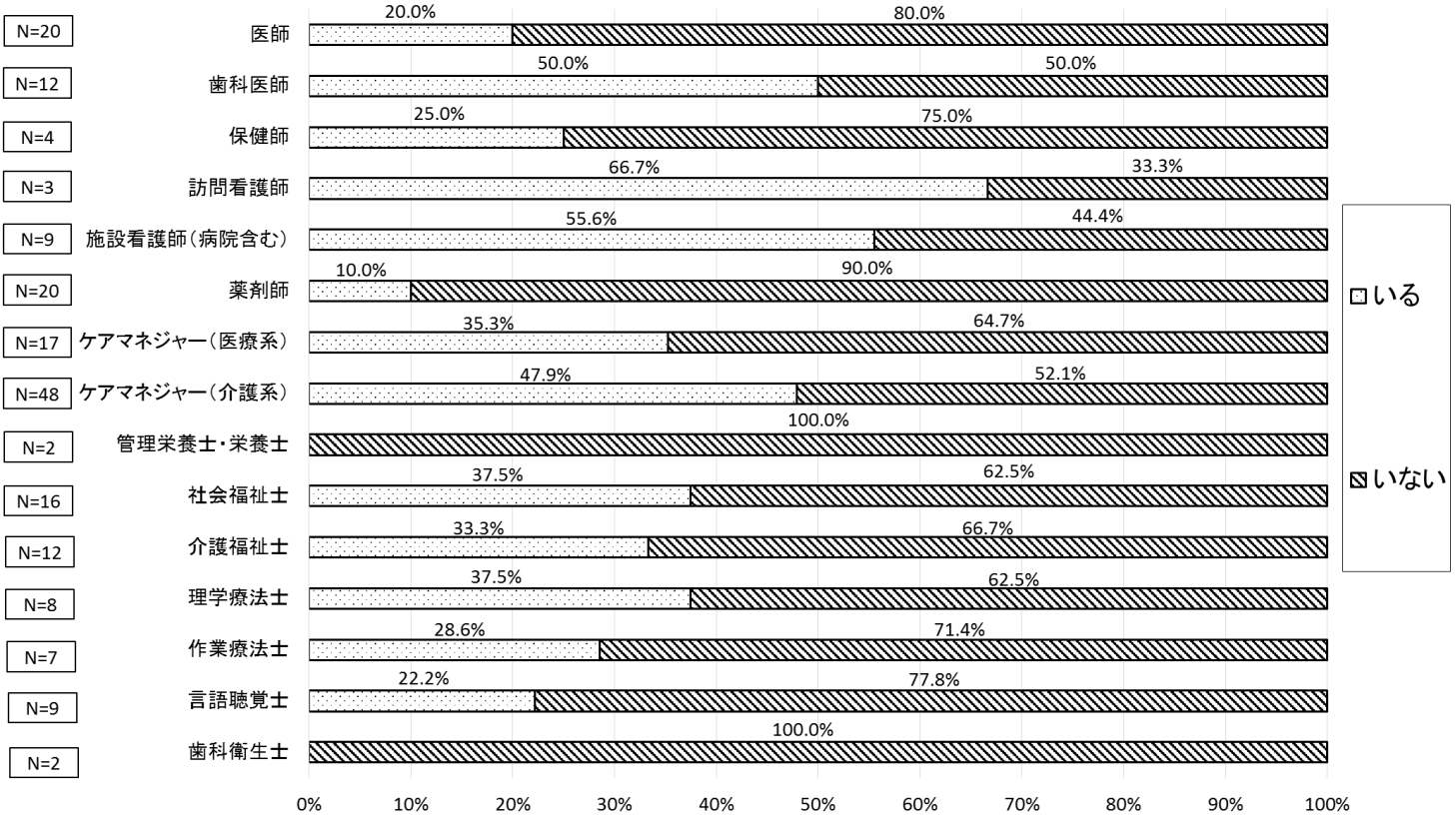
交流会を機に、連携をとっている方はいるか？　N=206



■職種別で見ると、歯科医師、訪問看護師、施設看護師は「いる」と回答した割合が 5 割以上となっている。医師、薬剤師、管理栄養士・栄養士、歯科衛生士は「いない」と回答した割合が 8 割以上となっている。

【職種別】

交流会を機に、連携をとっている方はいるか？

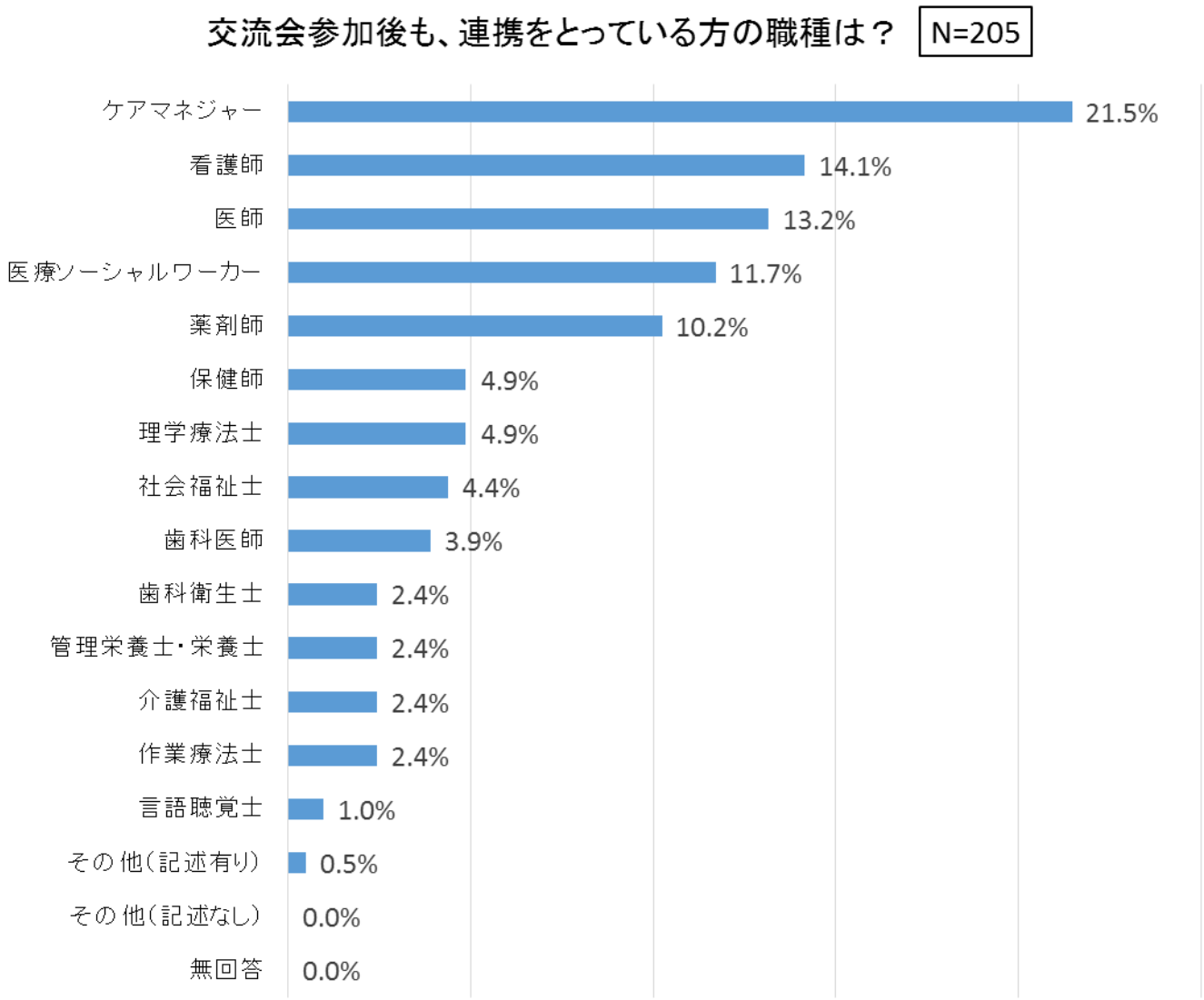


質問１８－１で「１．いる」と回答された方にお伺いします。

質問１８－２　その後も連携をとっている方の職種をお答えください。

■交流会参加後も連携をとっている方の職種としては、「ケアマネジャー」が 21.5%と最も多く、次いで「看護師」が 14.1%、「医師」が 13.2%となっている。

【交流会参加後に連携している職種】



■質問 18-2 を職種ごとにまとめたものが以下の表となっている。
職種別で見ても、保健師、ケアマネジャー（介護系）、社会福祉士、介護福祉士を除く全ての職種で「ケアマネジャー」と回答する割合が高い。

【職種別】上位３項目まで抽出

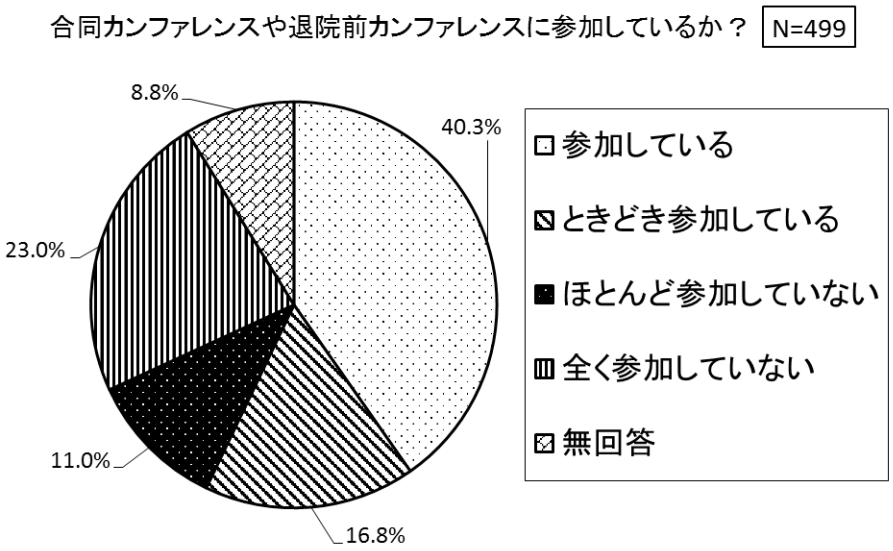
職種	その後も連携をとっている方の職種	構成比（%）
医師	ケアマネジャー	33.3%
	看護師	25.0%
	薬剤師	16.7%
歯科医師	ケアマネジャー	28.6%
	医師	14.3%
	保健師	7.1%
保健師	保健師	20.0%
	薬剤師	20.0%
	ケアマネジャー	20.0%
訪問看護師	ケアマネジャー	25.0%
	医師	25.0%
	看護師	25.0%
施設看護師	ケアマネジャー	31.3%
	医師	18.8%
	看護師	18.8%
薬剤師	ケアマネジャー	**50.0%**
	介護福祉士	**50.0%**
ケアマネジャー（医療系）	ケアマネジャー	21.7%
	医療ソーシャルワーカー	17.4%
	医師	13.0%
ケアマネジャー（介護系）	看護師	18.2%
	医師	15.2%
	医療ソーシャルワーカー	13.6%
管理栄養士・栄養士	該当なし	
社会福祉士	医師	17.6%
	ケアマネジャー	17.6%
	社会福祉士	17.6%
介護福祉士	医師	20.0%
	保健師	20.0%
	ケアマネジャー	20.0%
理学療法士	ケアマネジャー	**40.0%**
	医師	20.0%
	保健師	20.0%
作業療法士	ケアマネジャー	**50.0%**
	その他（記述有り）	**50.0%**
言語聴覚士	ケアマネジャー	25.0%
	歯科医師	12.5%
	看護師	12.5%
歯科衛生士	該当なし	

〔医療と介護の連携に関することについて〕

質問２０　合同カンファレンスや退院前カンファレンスに参加していますか？

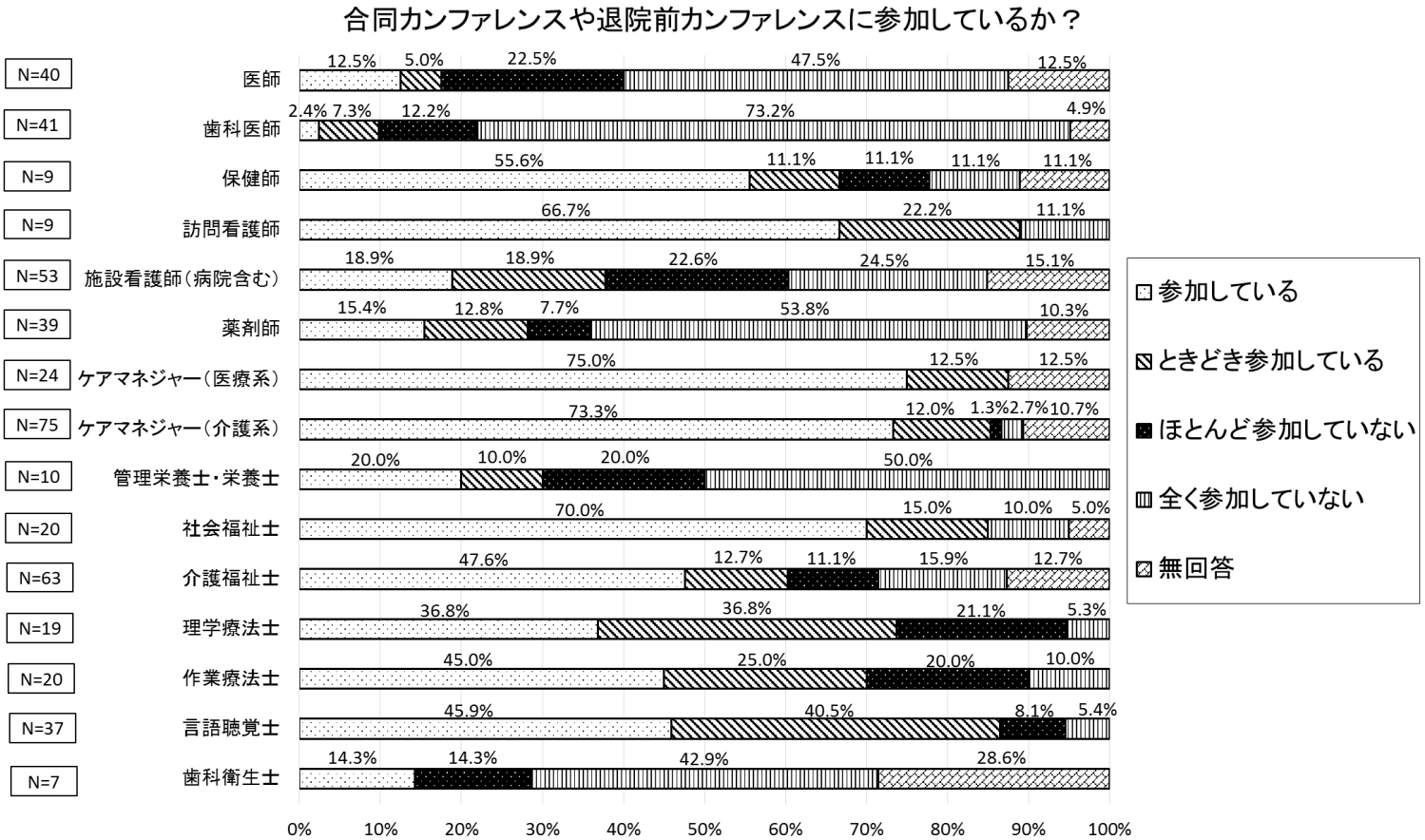
■合同カンファレンスや退院前カンファレンスへの参加状況については、「参加している」が 40.3%と最も多く、次いで「全く参加していない」が 23.0%となっている。
『参加している』（参加している+ときどき参加している）と回答する割合は 57.1%、『参加していない』（ほとんど参加していない+全く参加していない）と回答する割合は 34.0%となっている。

【カンファレンスの参加状況】



■職種別で見ると、訪問看護師、ケアマネジャー、社会福祉士、言語聴覚士は『参加している』と回答した割合が 8 割以上となっている。医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士・栄養士は『参加していない』と回答した割合が 6 割以上となっている。

【職種別】

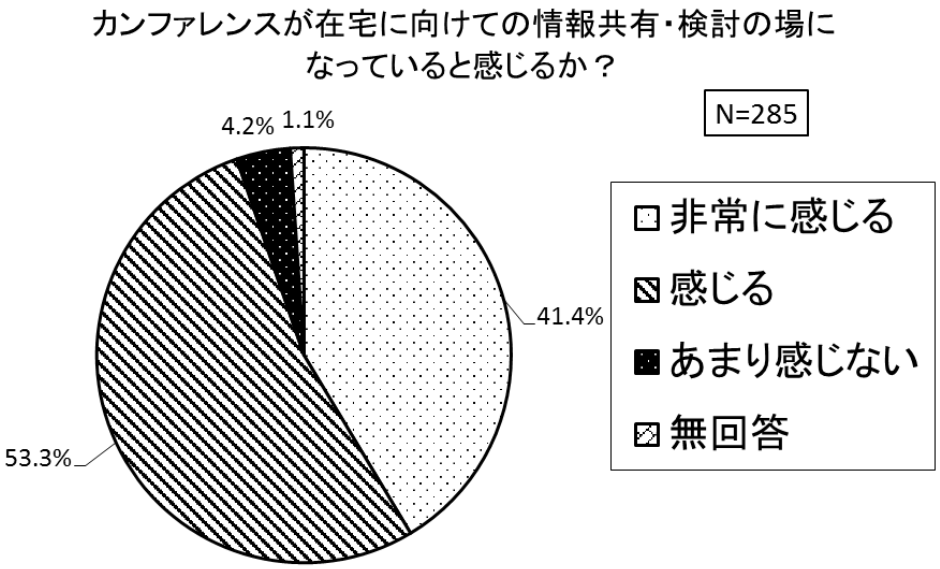


質問２０で「１．参加している」または「２．ときどき参加している」と回答された方にお伺いします。

質問２０－１　合同カンファレンスや退院前カンファレンスが、在宅に向けての情報の共有・検討の場になっていると感じますか？

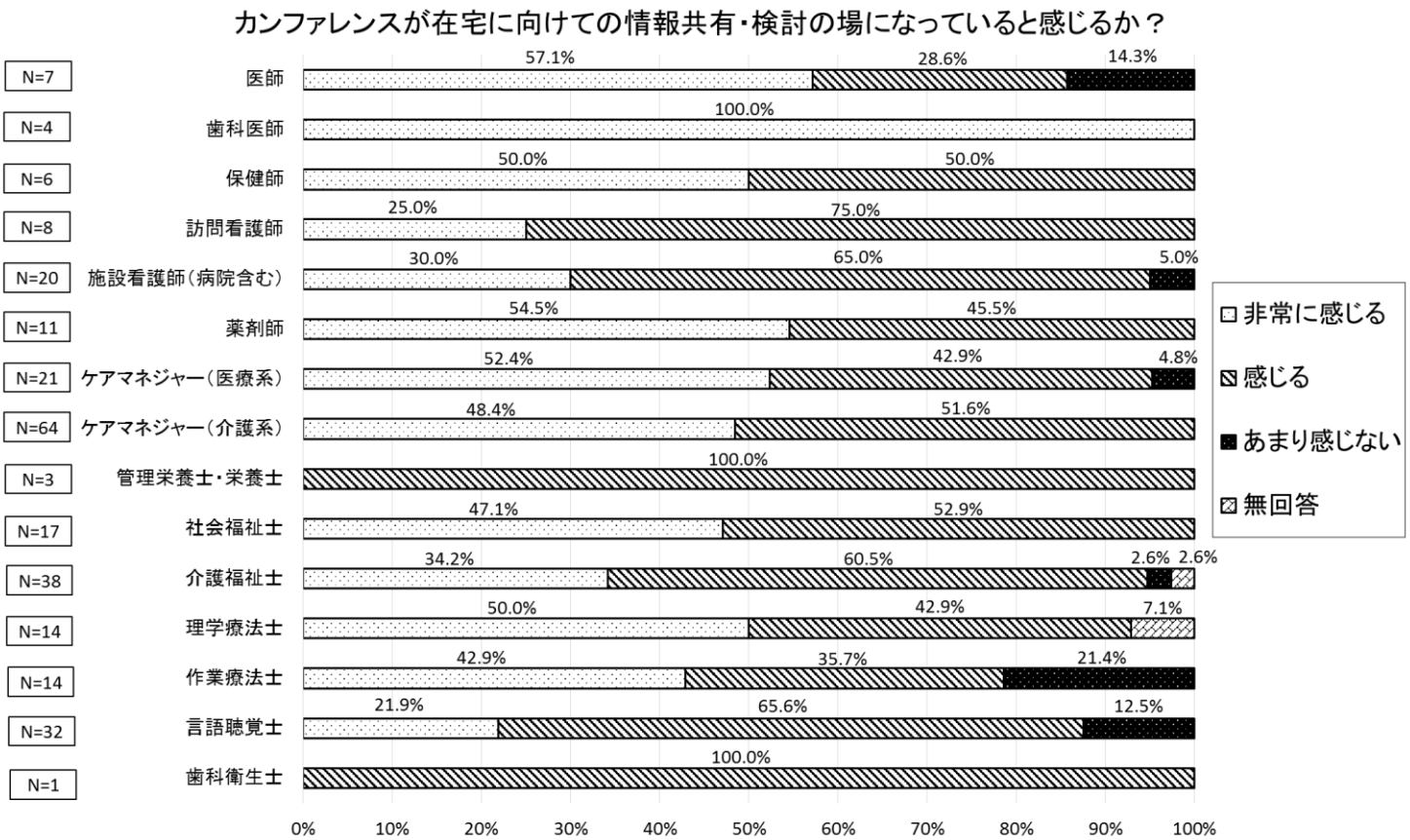
■カンファレンスが在宅に向けての情報共有・検討の場になっているかについては、「感じる」が 53.3%と最も多く、次いで「非常に感じる」が 41.4%となっている。

【在宅に向けたカンファレンスの有用性】



■職種別で見ても、全ての職種において「非常に感じる」、「感じる」と回答した割合が 7 割以上となっている。

【職種別】

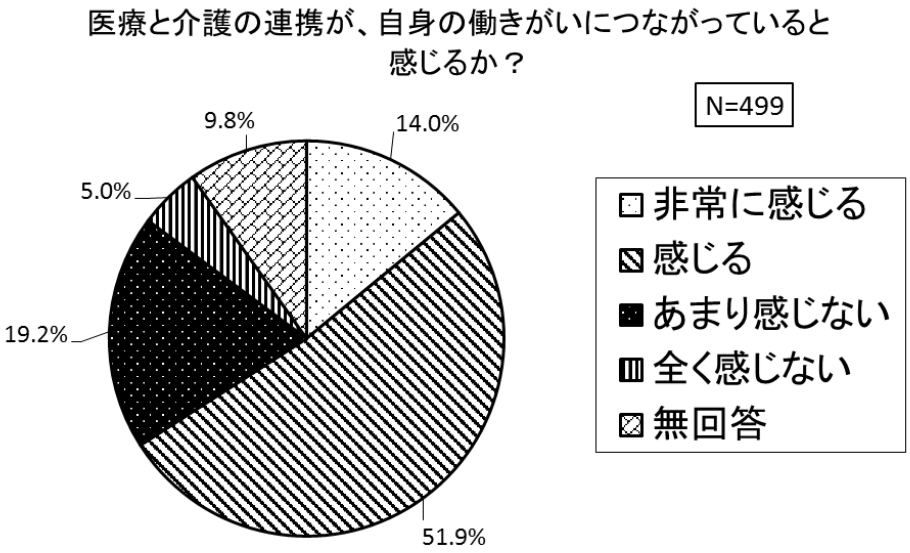


〔医療・介護従事者の働きがい等について〕

質問２１　医療と介護の連携が、ご自身の仕事の働きがいにつながっていると感じますか？

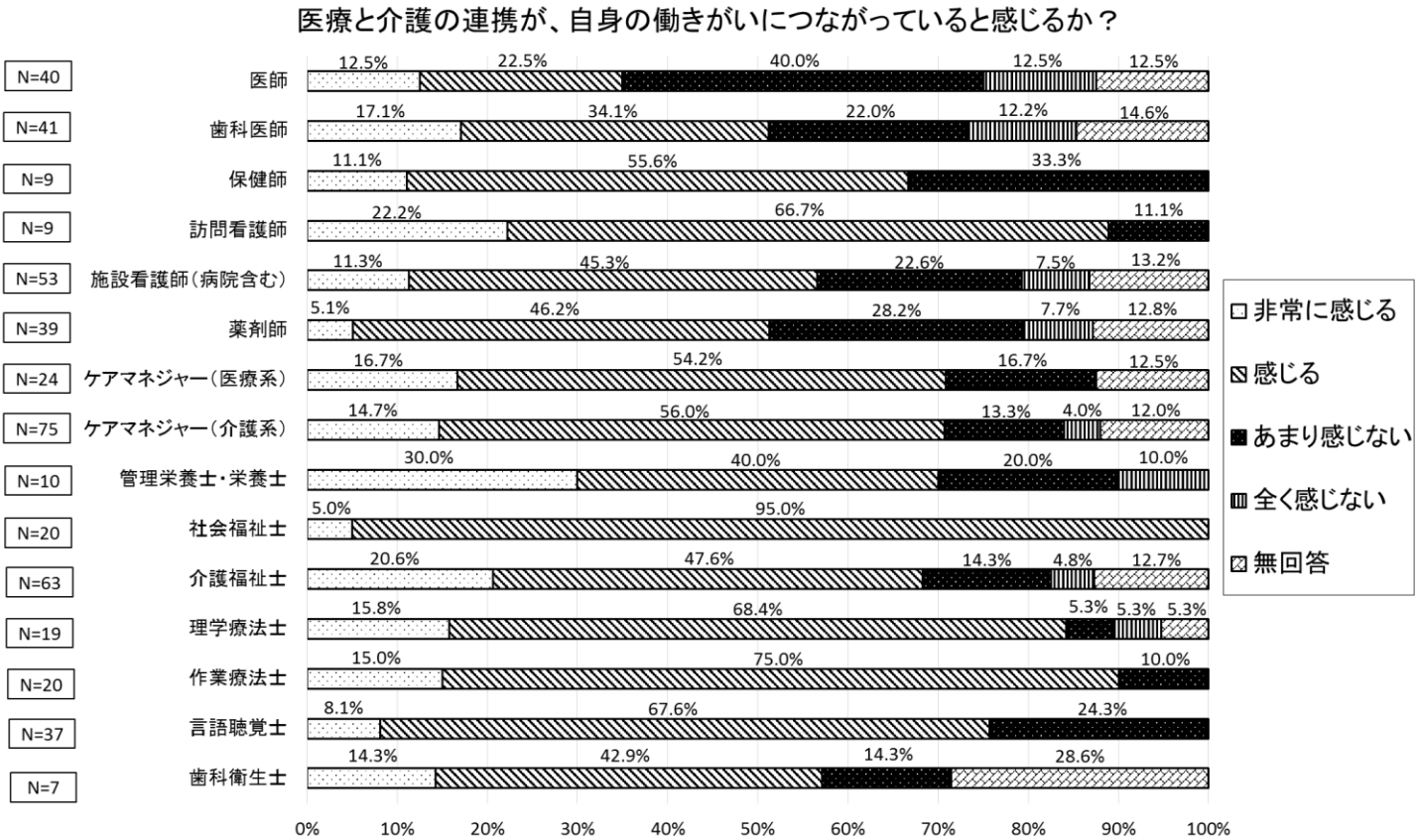
■医療と介護の連携が、ご自身の仕事の働きがいにつながっているかについては、「感じる」と回答した割合が 51.9%と最も多く、次いで「あまり感じない」と回答した割合が 19.2%となっている。

【医療・介護従事者の働きがい】



■職種別で見ると、訪問看護師、社会福祉士、理学療法士、作業療法士は「非常に感じる」、「感じる」と回答した割合が 8 割以上となっている。医師、歯科医師、保健師、施設看護師、薬剤師、管理栄養士・栄養士は「あまり感じない」、「全く感じない」と回答する割合が 3 割以上となっている。

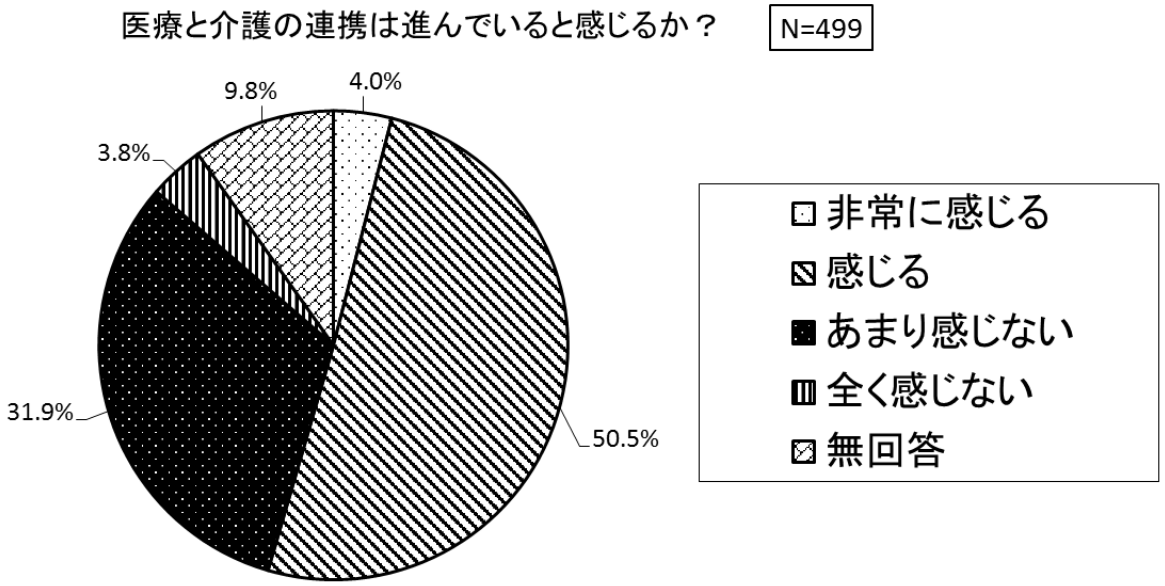
【職種別】



質問２２　医療と介護の連携は進んでいると感じますか？

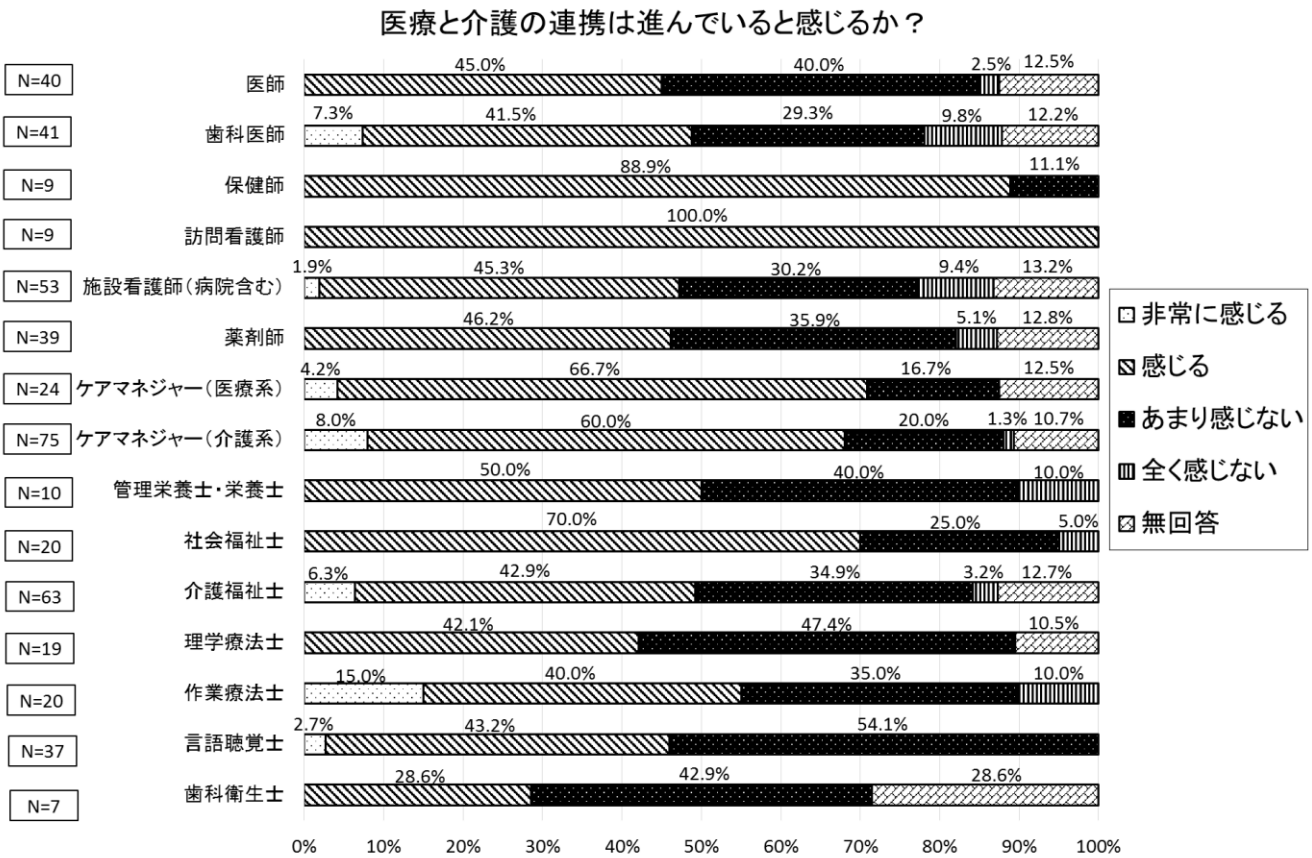
■医療と介護の連携は進んでいるかについては、「感じる」と回答した割合が 50.5%と最も多く、次いで「あまり感じない」が 31.9%となっている。

【医療・介護の連携の推進状況】



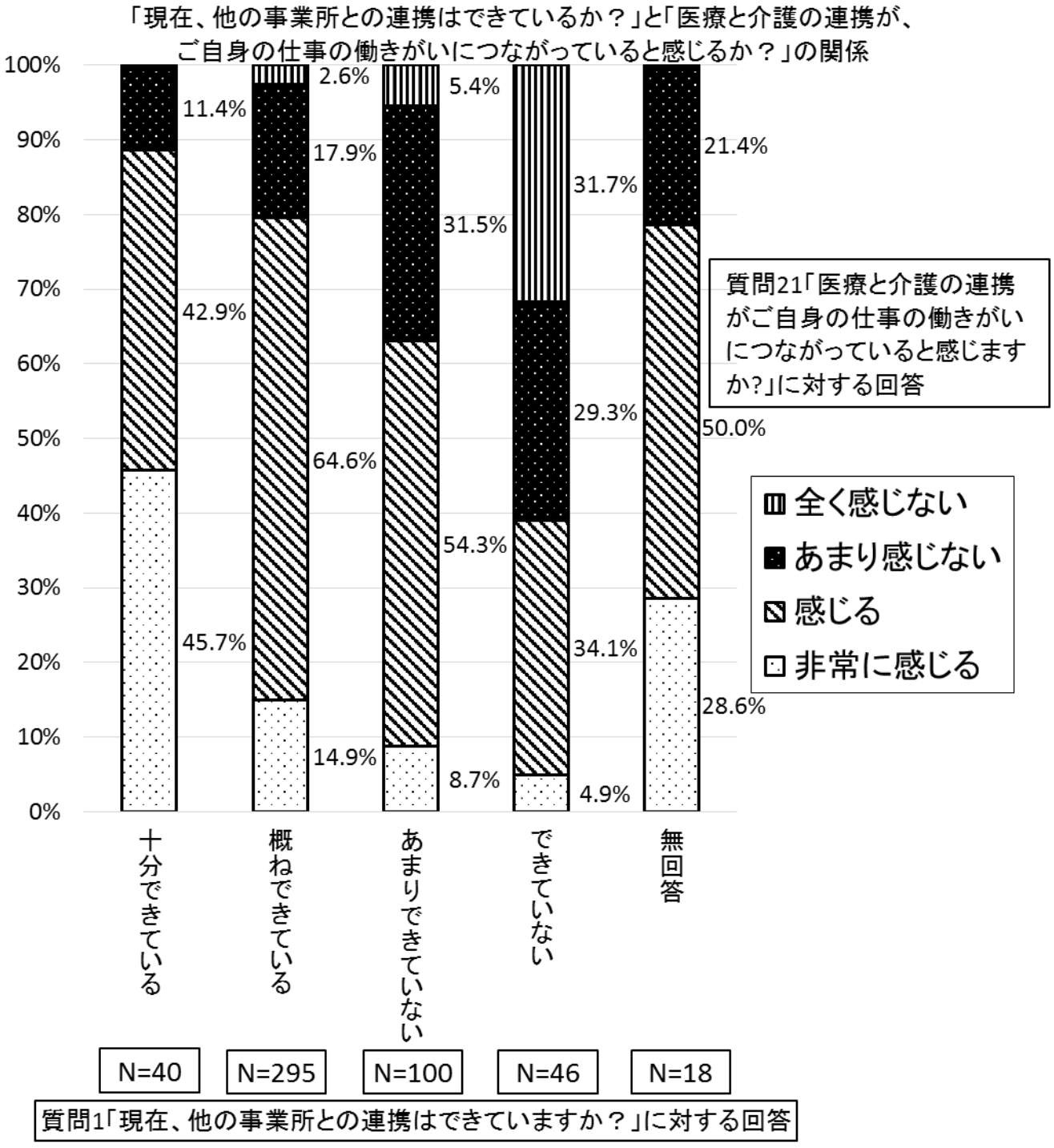
■職種別で見ると、保健師、訪問看護師、ケアマネジャー、社会福祉士は「非常に感じる」、「感じる」と回答した割合が 6 割以上となっている。医師、薬剤師、管理栄養士・栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士は「あまり感じない」、「全く感じない」と回答する割合が 4 割以上となっている。

【職種別】



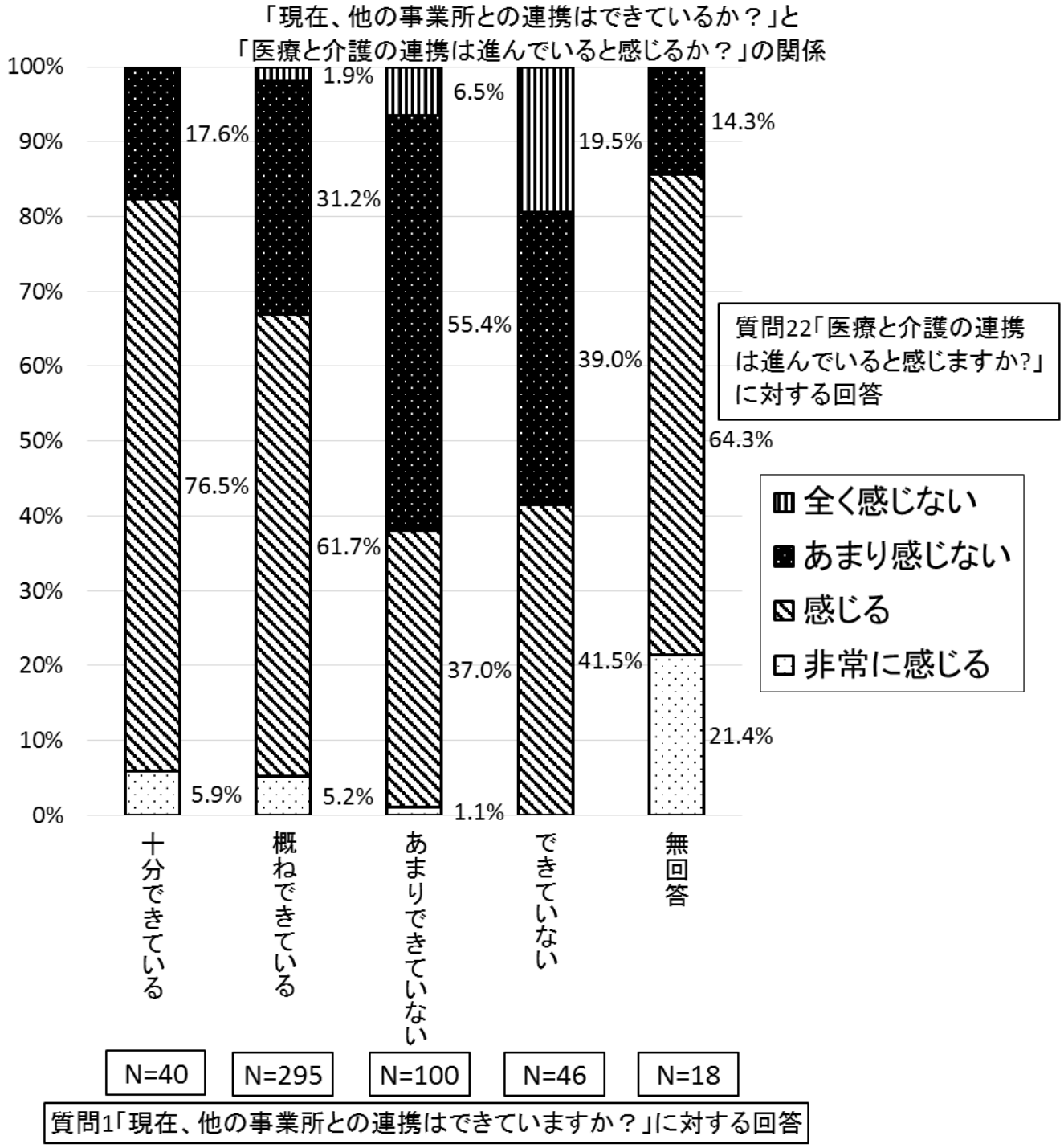
質問１　　現在、他の事業所との連携はできていますか？　と
質問２１　医療と介護の連携が、ご自身の仕事の働きがいにつながっていると感じますか？ の関係

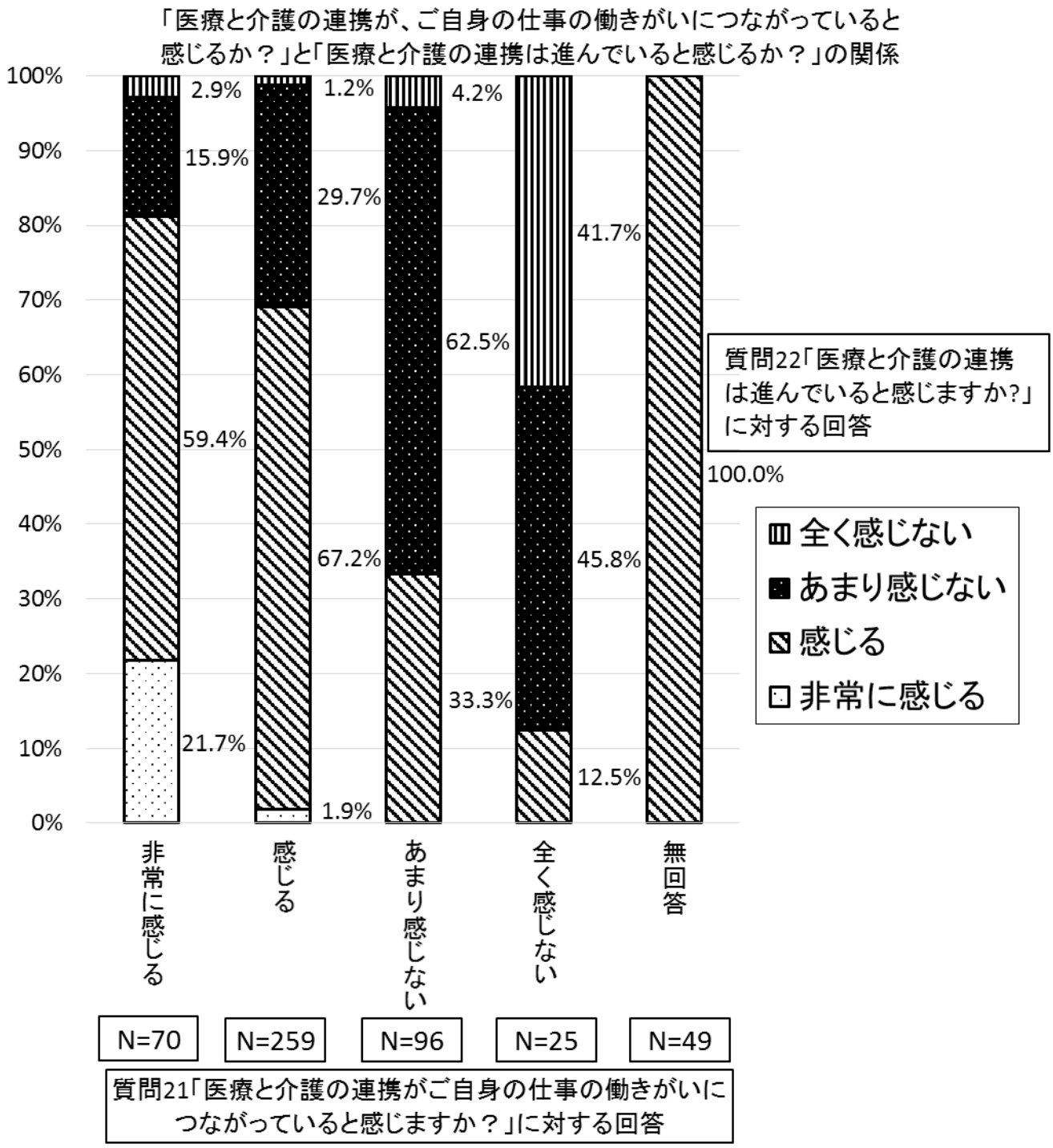
■他の事業所との連携状況と仕事の働きがいについての関係は、他の事業所との連携ができている方ほど、仕事の働きがいを実感する割合が高い。



質問１　　現在、他の事業所との連携はできていますか？　と
質問２２　医療と介護の連携は進んでいると感じますか？ の関係

■他の事業所との連携状況と医療と介護の連携が推進されているかについての関係は、他の事業所との連携ができている方ほど、医療と介護の連携の推進を実感する割合が高い。



質問２１ 医療と介護の連携が、ご自身の仕事の働きがいにつながっていると感じますか？ と
質問２２ 医療と介護の連携は進んでいると感じますか？ の関係

■仕事の働きがいと医療と介護の連携が推進されているかについての関係は、仕事の働きがいを実感する方ほど、医療と介護の連携の推進を実感する割合が高い。